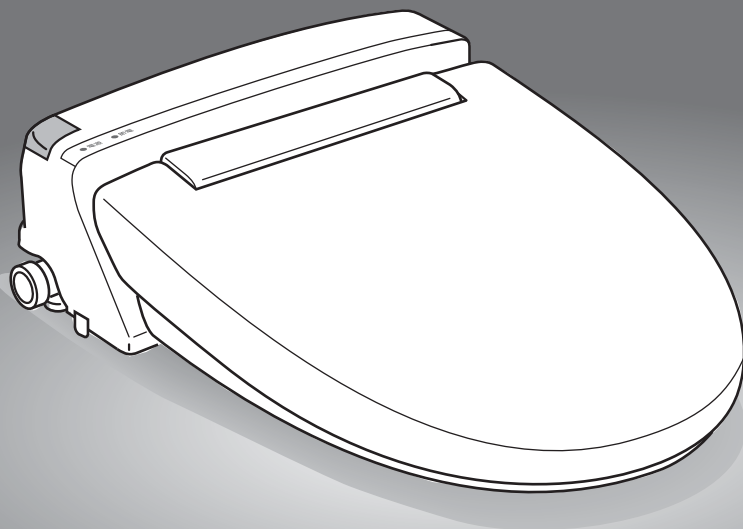
Shower toilet

取扱説明書 | 保証書別添 |

シャワートイレ

PASSO[パッソ] | CW-E63型,CW-E61型,CW-E60型

シャワートイレは、高齢の方、お体の不自由な方、ご病気の方、小さなお子さまも、
おひとりでご使用になるものです。しかも肌に直接触れます。
万が一の事故を未然に防ぎ、安全に、快適にお使いいただくために、
必ずこの「取扱説明書」をよくご覧ください。

この度は、当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。お読みになった後もすぐ取り出せる場所に、大切に保管してください。

❖ 安全上のご注意・必ずお守りください

5～9ページに示した警告と注意は、状況によって重大な事故に結びつく恐れがあります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。転居される場合、次に入居される方にこの説明書をお渡しください。

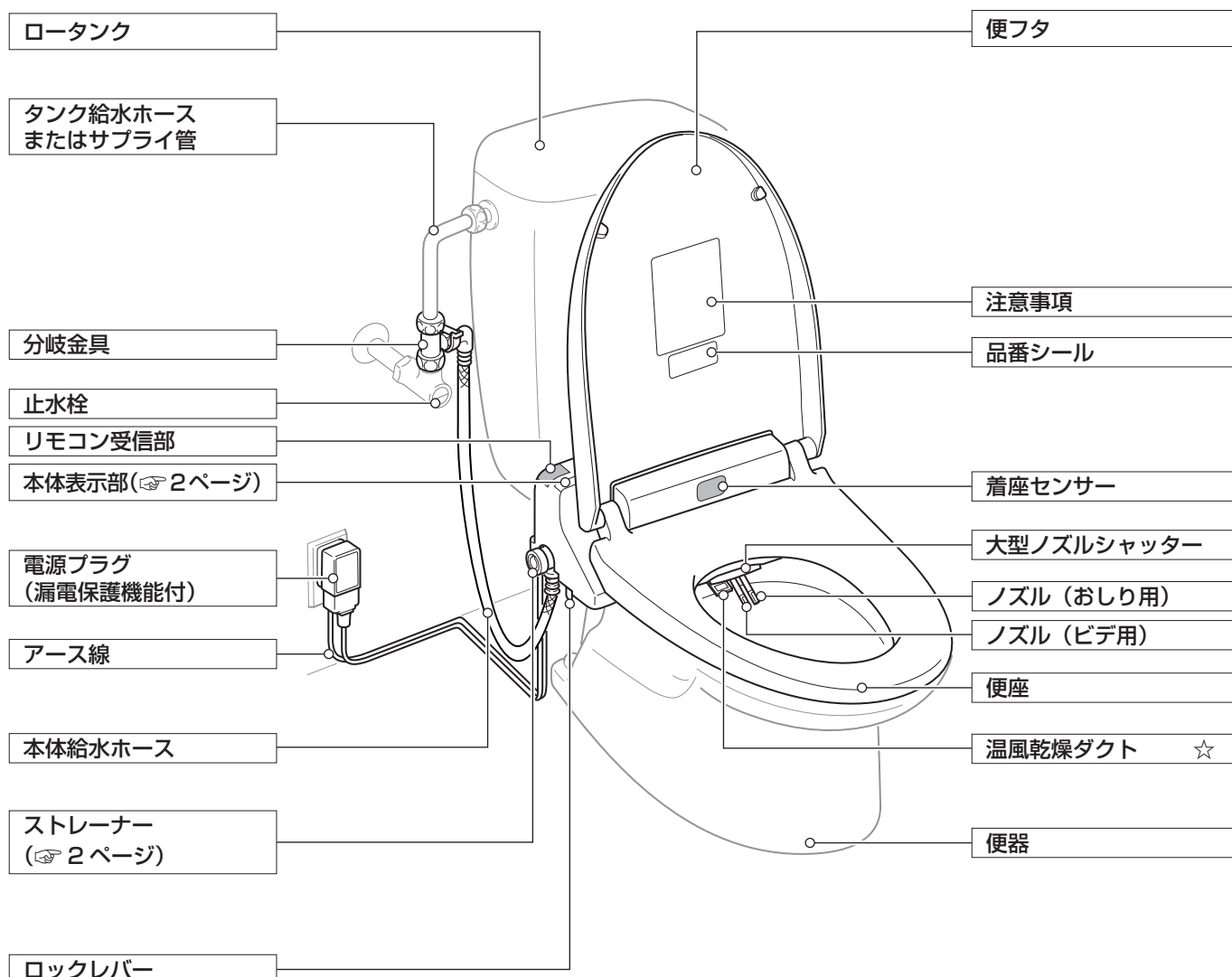
★工事店様へ　貴店名ならびに取付日を同梱の保証書にご記入の上、お客さまへお渡しください。

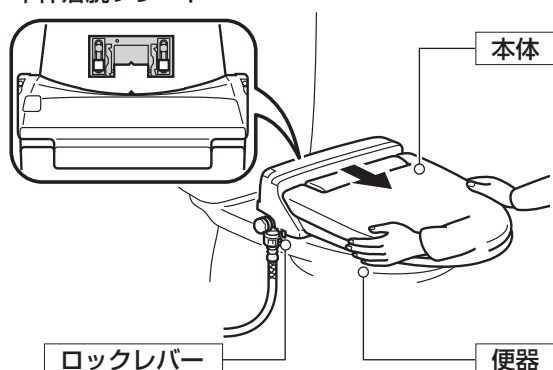
袋:PE

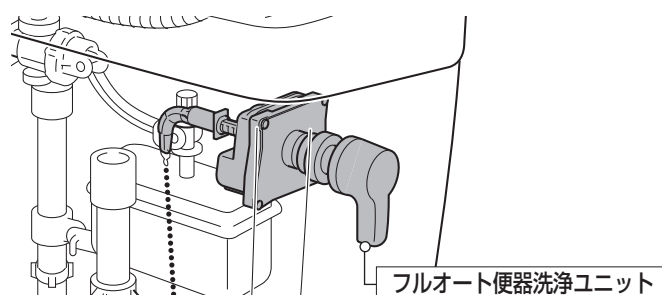
各部のなまえ

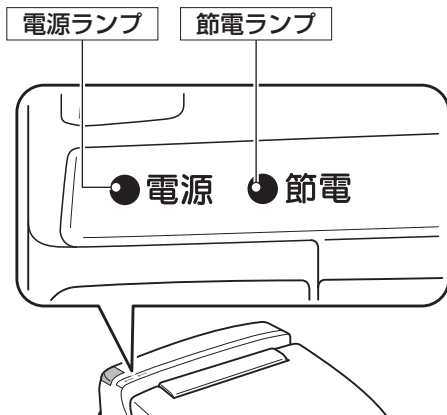
全体図

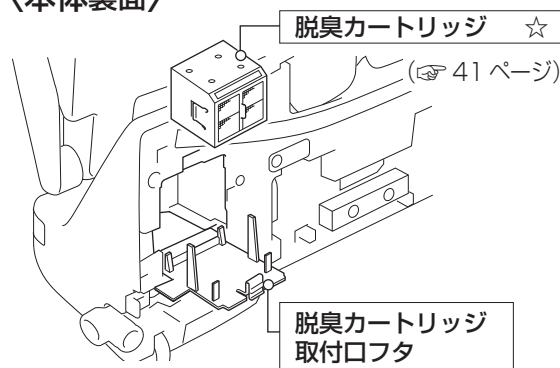
※機種によっては、一部機能（☆印付）がない場合があります。

ロータンク
タンク給水ホース またはサプライ管
分岐金具
止水栓
リモコン受信部
本体表示部(☞2ページ)
電源プラグ（漏電保護機能付）
アース線
本体給水ホース
ストレーナー（☞ 2 ページ）
ロックレバー
便フタ
注意事項
品番シール
着座センサー
大型ノズルシャッター
ノズル（おしり用）
ノズル（ビデ用）
便座
温風乾燥ダクト ☆
便器

本体着脱プレート＆ロックレバー

本体着脱プレート
本体
ロックレバー
便器

※ お手入れ時、本体を着脱するためのプレートです。
（☞ 37 ページ）

フルオート便器洗浄ユニット ☆

※ フルオート便器洗浄ユニットは、イラストと異なる場合もあります。
※ ロータンク部にあります。

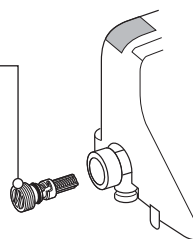
本体表示部

脱臭カートリッジ

〈本体裏面〉

ストレーナー

〈本体向かって左側面〉

ストレーナー

※ ストレーナーは、水道水内の異物を除去します。

※ ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてから外してください。
外すときは少量の水がこぼれますので、洗面器等を下に置いてください。
(☞ 39 ページ)

温水タンク水抜栓

〈本体向かって右側面〉

温水タンク水抜栓

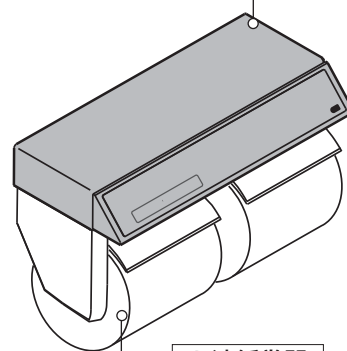
※ 温水タンク水抜栓は、温水タンク内の水を抜くときに外します。
(☞ 44 ページ)

目次

各部のなまえ

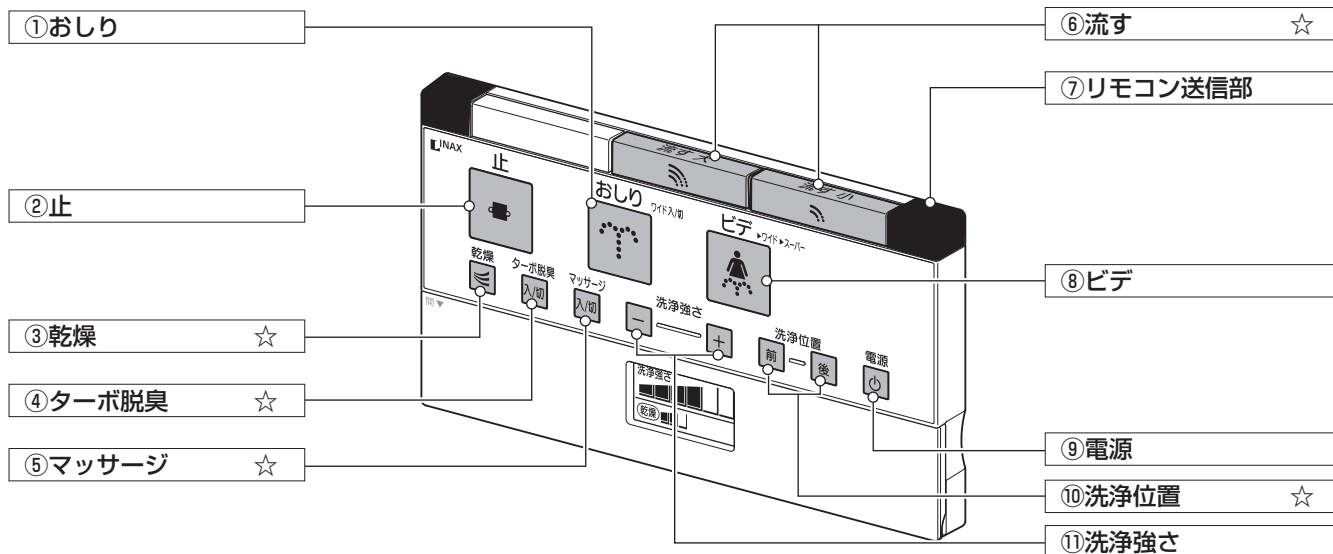
負圧破壊装置（バキュームブレーカー）

※ バキュームブレーカーは、本体に内蔵されています。
また、定期的な点検が必要です。（☞ 43 ページ）

インテリアリモコン ☆

※ インテリアリモコンのご使用方法については、インテリアリモコンの取扱説明書をご覧ください。

壁リモコン

※機種によっては、一部機能（☆印付）がない場合があります。

1. 主操作部

① 【おしり】 ……………………………… （☞ 15 ページ）
●おしり洗浄のときに。

② 【止】 ……………………… （☞ 15/16/18 ページ）
●おしり洗浄・ビデ洗浄・乾燥（乾燥付の場合）を止めるときに。

③ 【乾燥】 ……………………………… （☞ 18 ページ）
●おしり洗浄・ビデ洗浄の後に。

④ 【ターボ脱臭】 …………………… （☞ 21 ページ）
●自動脱臭をより強力に。

⑤ 【マッサージ】 …………………… （☞ 17 ページ）
●おしり洗浄のときに。

⑥ 【流す】 ……………………………… （☞ 19 ページ）
●便器洗浄のときに。

⑦ 【リモコン送信部】

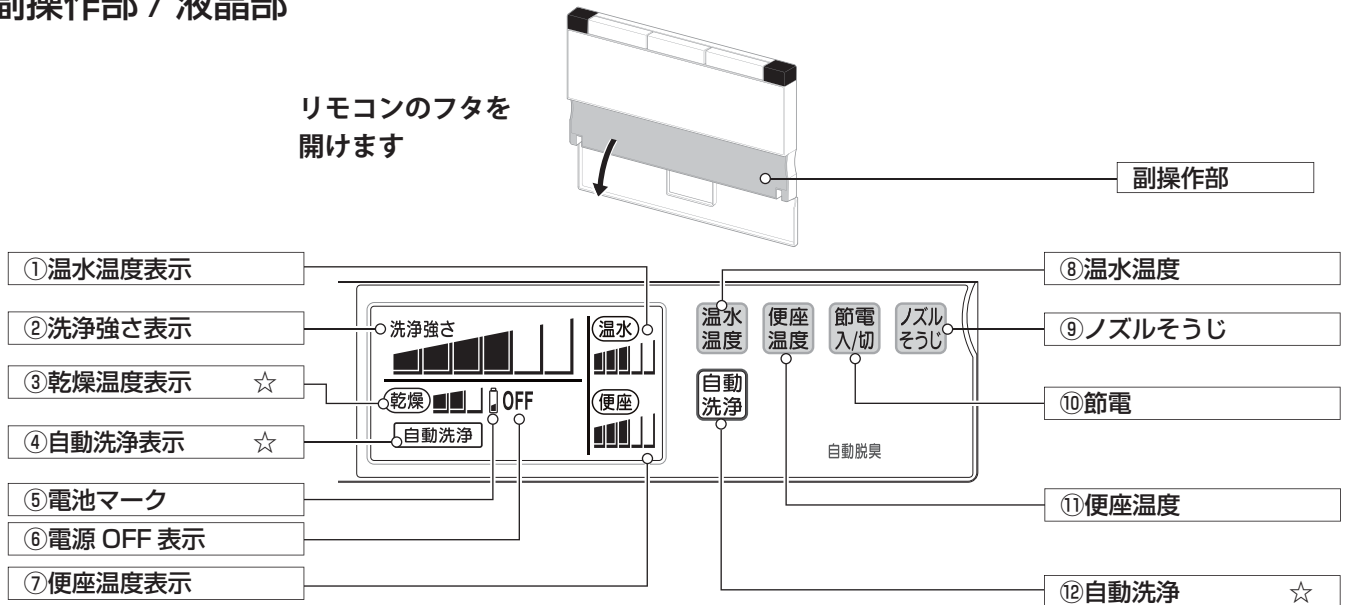
⑧ 【ビデ】 ……………………………… （☞ 16 ページ）
●ビデ洗浄のときに。

⑨ 【電源】 ……………………………… （☞ 11 ページ）
●シャワートイレ本体の電源を入 / 切するときに。

⑩ 【洗浄位置】 ……………………… （☞ 17 ページ）
●おしり洗浄やビデ洗浄の洗浄位置を調節するときに。

⑪ 【洗浄強さ】 ………………… （☞ 15/16 ページ）
●おしり洗浄やビデ洗浄の洗浄強さを調節するときに。

壁リモコン　※機種によっては、一部機能（☆印付）がない場合があります。

2. 副操作部 / 液晶部

① 【温水温度表示】…………………… (☞ 13 ページ)
●シャワー温度の確認に。

② 【洗浄強さ表示】……………… (☞ 15/16 ページ)
●洗浄強さの確認に。

③ 【乾燥温度表示】…………………… (☞ 18 ページ)
●乾燥温度の確認に。

④ 【自動洗浄表示】…………………… (☞ 19 ページ)
●フルオート便器洗浄「入 / 切」の確認に。

⑤ 【電池マーク】……………………… (☞ 40 ページ)
●リモコン電池の交換を案内。

⑥ 【電源 OFF 表示】 ………………… (☞ 11 ページ)
●シャワートイレ本体が「切」のときに。

⑦ 【便座温度表示】…………………… (☞ 13 ページ)
●便座温度の確認に。

⑧ 【温水温度】………………………… (☞ 13 ページ)
●シャワー温度の調節に。

⑨ 【ノズルそうじ】…………………… (☞ 31 ページ)
●ノズルの掃除に。

⑩ 【節電】……………………………… (☞ 20 ページ)
●トイレを使用しないときや節電のために。

⑪ 【便座温度】………………………… (☞ 13 ページ)
●便座温度の調節に。

⑫ 【自動洗浄】………………………… (☞ 19 ページ)
●フルオート便器洗浄の「入 / 切」に。

保有機能一覧（あり：○、なし：－）

品番	CW-E63Q	CW-E63	CW-E61Q	CW-E61	CW-E60
おしり・ビデ洗浄	○	○	○	○	○
スーパーワイドビデ洗浄	○	○	○	○	○
マッサージ洗浄	○	○	○	○	－
洗浄位置調節	○	○	○	○	－
温風乾燥	○	○	－	－	－
Wパワー脱臭	2モード	2モード	2モード	2モード	－
ターボ脱臭	○	○	○	○	－
キレイ便座	○	○	○	○	○
スーパー節電	○	○	○	○	○
ワンタッチ節電	○	○	○	○	○
フルオート便器洗浄	○	－	○	－	－

※品番は、便フタ裏の品番シール（☞ 1 ページ）に記載されています。お持ちの機能をご確認ください。

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく恐れがあります。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

警告	注意
この表示を守らず誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う恐れが想定される内容を示します。	この表示を守らず誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負うまたは物的損害のみが発生する恐れが想定される内容を示します。

⚠ 警告

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
※ 感電の恐れがあります。

水かけ禁止

シャワートイレ本体や電源プラグに水や洗剤をかけない。
※ 感電・火災の原因になります。

禁止

●交流 100V 以外では使用しない。
●タコ足配線はしない。
※ 火災の原因になります。

禁止

電源コードをキズつけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、狭み込んだりしない。
※ 電源コードが破損し、感電・火災の恐れがあります。

禁止

ガタついているコンセントやアースターミナル付接地極付以外のコンセントは使用しない。
※ 感電・火災の原因になります。

アース接続

アース線はコンセントのアースターミナルへ確実に接続する。
※ 感電等の原因になります。

指示実行

電源プラグの抜き差しはプラグ本体を持って行う。
※ コード部を持って抜差しを行うとプラグやコードが破損し、火災や感電の恐れがあります。

指示実行

電源プラグは定期的にコンセントから抜いて乾いた布でふきとる。
※ 電源プラグにたまったホコリにより火災の恐れがあります。

指示実行

電源プラグは根元まで十分差し込む。
※ 感電・火災の恐れがあります。

指示実行

シャワートイレ本体や給水部から漏水した場合、コンセントから電源プラグを抜き、止水栓を閉める。
※ 感電・火災・室内浸水の恐れがあります。

指示実行

シャワートイレ本体、電源プラグやコードが故障（異音・異臭・発煙・高温・割れ・漏水）した場合、ただちにコンセントから電源プラグを抜き、止水栓を閉め、修理を依頼し、故障したまま使用しない。
※ 感電・火災・漏水の恐れがあります。

この表示は「注意しなさい！」の記号です。(左記の『警告』、『注意』と併記して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)

この表示は、してはいけない「禁止」の記号です。

この表示は、必ず実行していただく「指示実行」の記号です。

⚠ 警告

次のような方が使用されるときは、周りの方が便座温度を「切」にする。

・お子さま
・お年寄り
・病気の方
・ご自分で温度調節のできない方
・皮膚の弱い方
・睡眠薬等、眠気を誘う薬を服用された方
・深酒された方
・疲労の激しい方

※「切」以外の設定で長時間使用されますと、低温ヤケドをおこす恐れがあります。

〈乾燥付の場合〉
次のような方が使用されるときは、周りの方が乾燥温度を「低」にする。

・お子さま
・お年寄り
・病気の方
・ご自分で温度調節のできない方
・皮膚の弱い方
・睡眠薬等、眠気を誘う薬を服用された方
・深酒された方
・疲労の激しい方

※「低」以外の温度で長時間使用されますと、ヤケドをおこす恐れがあります。

長時間使用するときは便座温度を「切」にする。

※「切」以外の設定で長時間使用されますと、低温ヤケドをおこす恐れがあります。

〈乾燥付の場合〉
乾燥を長時間使用するときは乾燥温度を「低」にする。

※「低」以外の温度で長時間使用されますと、ヤケドをおこす恐れがあります。

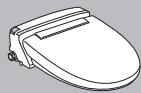
電池は以下の事を守り、正しく使用する。

●⊕⊖を正しく入れる。
●長期間使用しないときは、電池を取り出す。
●使い切った電池はすぐに器具から取り出す。
●電池を破棄するときは、テープ等で絶縁を行う。
※電池の液もれにより火災の原因となります。

●乳幼児の手の届く場所には置かない。
※誤って飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

●電池液が身体に付着したときは、水でよく洗い流す。
●液が目に入ったときは、目をこすらずにすぐにきれいな水で洗う。
※失明の恐れがあります。医師に相談してください。

電池を取扱うときは、以下のことはしない。

●金属製のもの（ネックレス・ヘアピン等）と一緒に持ち込んだり保管しない。
●新しい電池と古い電池や種類の異なる電池を一緒に使用しない。
●過熱・分解したり、水や火の中に入れない。
※電池の液もれにより火災の原因となります。

安全上のご注意

⚠ 警告

分解禁止

分解や改造は絶対に行わない。

※ 感電・火災・ケガの原因になります。

指示実行

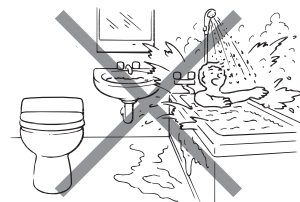
凍結の恐れがある場合は、必ず凍結防止操作を行う。（☞ 45 ページ）

※ 凍結破損により火災・室内浸水の原因になります。

水場使用禁止

バスルーム等の湿気の多い場所には設置しない。

※ 感電・火災の原因になります。

⚠ 注意

指示実行

プラスチック部のお手入れは、便座に使用できる（プラスチック用）洗剤を使用する。

※ トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、クレゾール等を使用すると、プラスチック部が破損し、ケガ、感電、火災の恐れがあります。

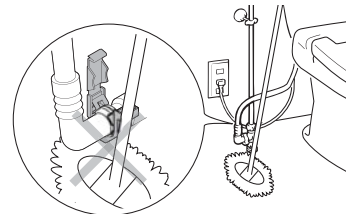
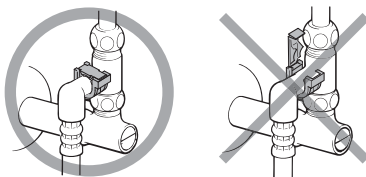
指示実行

お掃除のときには必ず電源プラグをコンセントから抜く。

※ 感電の恐れがあります。
（ノズル掃除を行う場合は、電源を入れた状態で行ってください。）

指示実行

クリップは給水ホースに、確実にはまっていることを確認する。

※ はまっていないと給水ホースが外れ、漏水する恐れがあります。

指示実行

- **ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉める。**
- **ストレーナーを取り付ける際は、段差がないようにしっかり閉める。**
- **ストレーナーを取り付ける際は、ゴミがＯリングに付着していないことを確認する。**

※Ｏリングにゴミが付着していると、漏水し室内浸水の原因になります。

禁止

〈脱臭付の場合〉
脱臭カートリッジ取付口の奥に指を入れない。

※ケガの恐れがあります。

禁止

止水栓に手をかけたり、乗ったりしない。

※ 漏水し室内浸水の原因になります。

禁止

給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない。

※ 漏水し室内浸水の原因になります。

禁止

お掃除のとき等に、クリップに衝撃を与えたり、引っ掛けない。

※ クリップの破損等により給水ホースが外れ、室内浸水の原因になります。

安全上のご注意

⚠注意

火気禁止

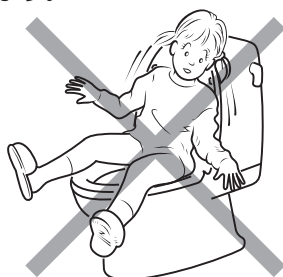
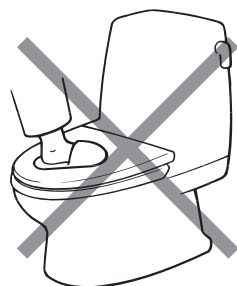
タバコや灰皿等の火気類を近づけない。
※ 火災の恐れがあります。

接触禁止

便器の陶器部にヒビが入ったり、割れたりしたら破損部には絶対に触れない。
※ 破損部でケガをする恐れがあります。早めに交換してください。

禁止

便フタにもたれない。
※ ケガをしたり、破損したりすることがあります。

禁止

便フタや本体の上に乗らない。
※ 破損してケガをする恐れがあります。

禁止

水道水以外に接続しない。
※ 機械内部の腐食により感電・火災および皮膚の炎症の原因になります。

指示実行

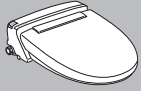
定期的に配管の周りを見て水漏れがないか確認する。
※ 部品の劣化・摩耗等による水漏れが発見できず、家財等を濡らす財産損害の恐れがあります。

指示実行

長期間使用しない場合は、水抜き操作を行い、電源プラグをコンセントから抜く。（☞ 44 ページ）
※ 凍結破損により火災・室内浸水の恐れがあります。
※ 水が汚れて皮膚の炎症等をおこす恐れがあります。

指示実行

次のような方が使用されるときは、周りの方が転倒に注意する。
- お子さま
- お年寄り
- ご自分で座ることや立ち上がることができない方

※ ケガをしたり、破損したりすることがあります。

お取り扱い上のご注意

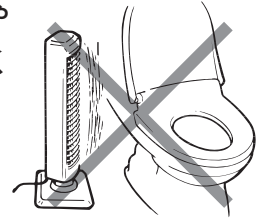
直射日光が当たらないようにしてください。

※ プラスチック部が変色することがあります。
※ リモコンの作動不良の原因になります。

シャワートイレ本体にストーブやヒーター等を近付けすぎないでください。

※ 変色や故障の原因になります。

便フタおよび便座の開閉は乱暴に行わないでください。

※ 割れたり漏電等、故障の原因となることがあります。

本体・便座・便フタ等のプラスチック部を乾いた布やトイレットペーパー等でふかないでください。
詳しいお手入れ方法は 27 ページをご覧ください。

※ キズがつき光沢がなくなることがあります。

リモコンに水や洗剤をかけないでください。

※ 故障の原因になります。

ぬれた手でリモコンを操作しないでください。

※ 故障の原因になります。

プラスチック部にトイレ用消臭剤をかけないでください。
かかった場合は、すぐにふきとってください。

※ 光沢がなくなることがあります。

〈乾燥付の場合〉
絶対に温風吹出口をふさがないでください。

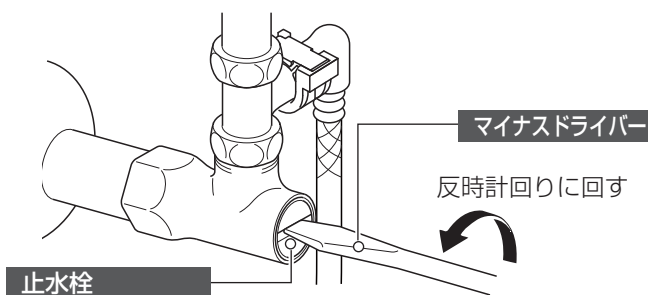
※ 故障の原因になります。

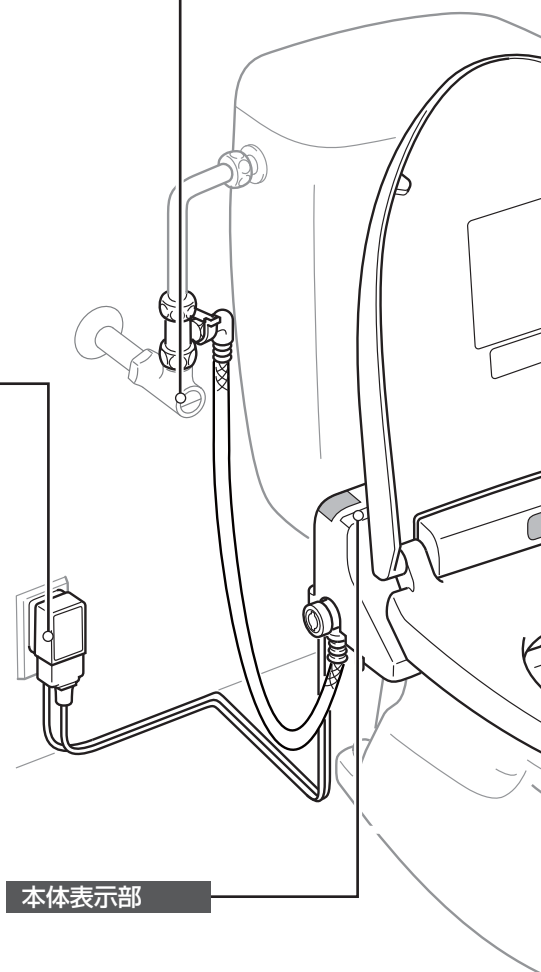
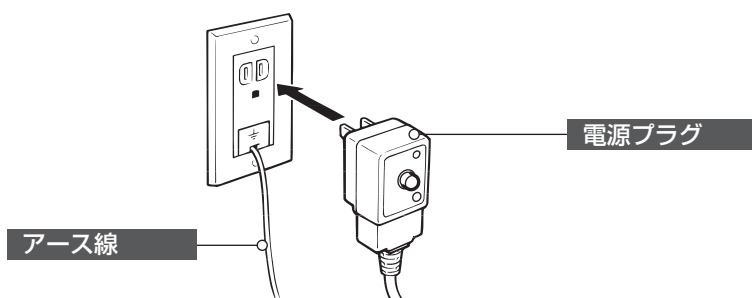
〈フルオート便器洗浄付の場合〉
洗浄時に停電が起きたり、故意に電源プラグを抜くと、流れっ放しになる場合があります。
その際は、洗浄ハンドルを戻してください。(☞26ページ)

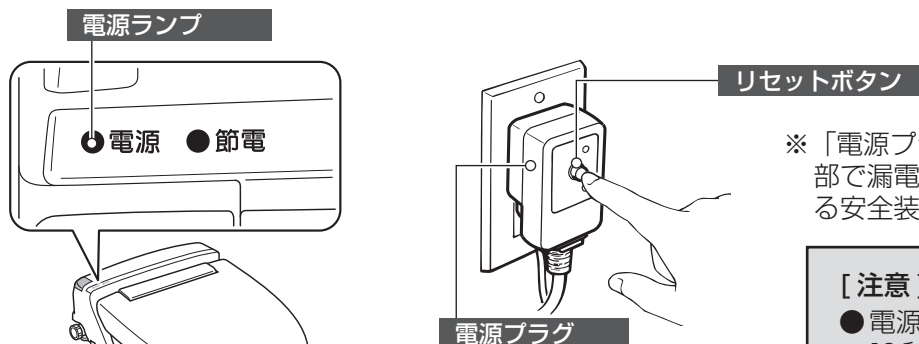
ご使用前の準備と確認

※ シャワートイレをはじめて使用される前に、
必ず以下の項目を確認してください。

STEP 1 止水栓は開いていますか？

※「止水栓」が閉まっている場合は、反時計回りに回して開けます。
開いている場合は調節してありますので、必ず元の位置に戻してください。

STEP 2 電源プラグとアース線をコンセントに接続

- **「アース線」をコンセントのアース端子に接続する**
- **「電源プラグ」をコンセント（交流 100V）に差し込む**

- **「電源ランプ」の点灯を確認する**

※ 本体表示部の「電源ランプ」（緑色）が点灯します。
「電源ランプ」が点灯しなかった場合は「電源プラグ」の「リセットボタン」または、リモコンの【電源】を押してください。リモコンで電源「切」を行うと、リモコン液晶部に「OFF」が表示されます。

※「電源プラグ」には、シャワートイレ内部で漏電が起こった場合、電気を遮断する安全装置が付いています。

[注意]
- 電源プラグを差し直すときは、10 秒程度時間をあけてください。

STEP 3

おしり洗浄のシャワーは出ますか？

着座センサー

● 着座センサーを紙や布で覆う

※ 覆う紙や布が黒色のとき、着座センサーが反応しない場合があります。（☞ 25 ページ）

●【おしり】を押す

● ノズルの先端に手をかざしてシャワーを受け止める

※ このとき、準備動作のため、ノズル付近から水が出ます。
※ 温水タンクが満水でない場合、約 2 分かかることがあります。

●【止】を押して、シャワーを止める

● 着座センサーを覆っていた紙や布を取り去る

※ 一般的な使い方（14 ページ以降）をご覧になって他の機能も確認してください。
※ 人が便座に座ったことを検知する着座センサーが付いています。おしり洗浄、ビデ洗浄、乾燥 (乾燥付の場合）は、着座していないと作動しません。

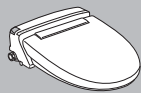
⚠ 警告

アース接続

アース線はコンセントのアースターミナルへ確実に接続してください。
※感電等の原因になります。

禁止

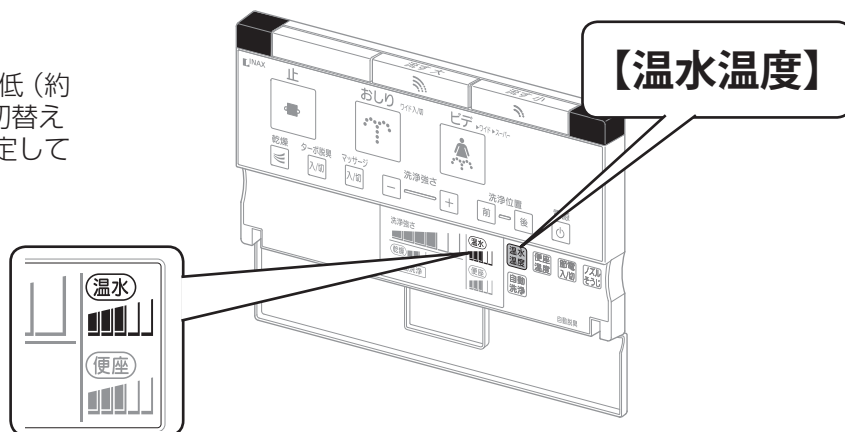
- 交流 100V 以外では使用しないでください。
- タコ足配線はしないでください。

※火災の原因になります。

ご使用前の準備と確認

シャワートイレを使用する前に下記の操作をしますと、より快適にご使用になれます。

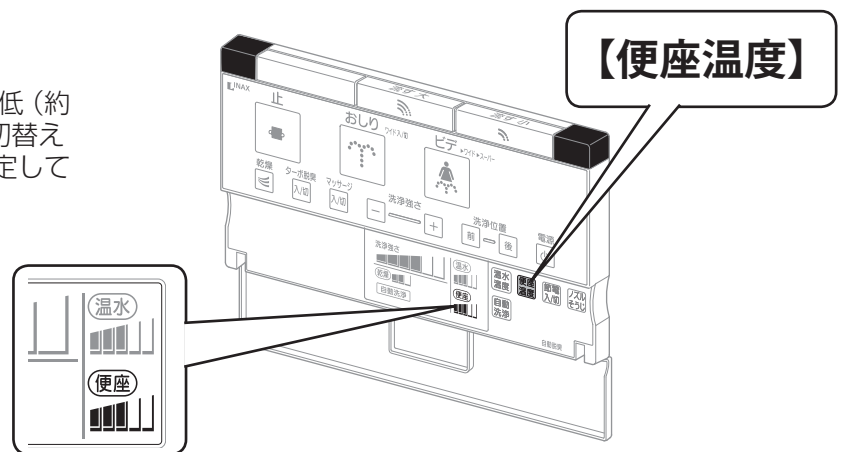
STEP 4 シャワー温度を調節

●【温水温度】を押す

※温水温度は6段階(「切(水温)」、「低(約32℃)」～「高(約40℃)」)に切替えできますので、お好みの温度に設定してください。

※スイッチを押すたびに、液晶表示が切り替わります。

STEP 5 便座温度を調節

●【便座温度】を押す

※便座温度は6段階(「切(室温)」、「低(約28℃)」～「高(約40℃)」)に切替えできますので、お好みの温度に設定してください。

※スイッチを押すたびに、液晶表示が切り替わります。

⚠警告

指示実行

次のような方が使用されるときは、
周りの方が便座温度を「切」にしてください。

- ・お子さま
- ・お年寄り
- ・病気の方
- ・ご自分で温度調節のできない方
- ・皮膚の弱い方
- ・睡眠薬等、眠気を誘う薬を服用された方
- ・深酒された方
- ・疲労の激しい方

※「切」以外の設定で長時間使用されますと、低温ヤケドをおこす恐れがあります。

(参考)

- ●シャワーと便座はすぐにはあたたまりません。あらかじめ使用する10 ～ 15分前にスイッチを入れておけば、快適にご使用できます。
- ●座ると自動的に便座ヒーターを切って、低温ヤケドをおこしにくくする"便座ヒーターオートOFF"が付いています。(☞22ページ)

一般的な使い方

ご使用方法

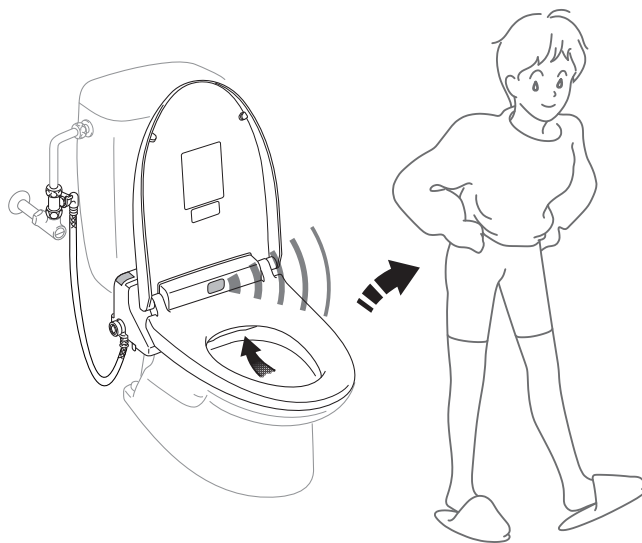
STEP 1

便座に座ると脱臭が作動する（自動）

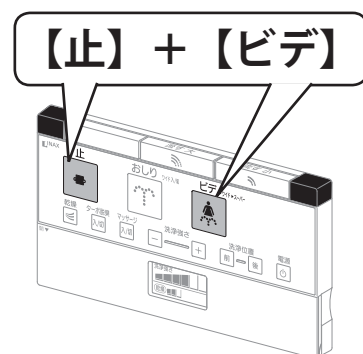
※ この機能のついていない機種があります。
4 ページの「保有機能一覧」にてご確認ください。

1 座ると通常脱臭
脱臭ファンが「パワーモード」で作動し、便鉢内のニオイを除去します。

2 立ち上がると強力脱臭
脱臭ファンが能力を上げて「フルパワーモード」になり、ニオイを除去します。

3 脱臭停止
脱臭ファンは、立ち上がってから 1 分後に自動停止します。

■自動脱臭を使用しない場合〈脱臭付の場合〉

【止】と【ビデ】を同じタイミングで 2 秒以上押す

※ セット完了時、本体表示部の電源ランプが 2 回点滅します。
※ 再び、使用する場合も【止】と【ビデ】を同じタイミングで 2 秒以上押します。

（参考）
●シャワートイレ本体にニオイを吸収する脱臭カートリッジがついています。（☞ 41 ページ ）

❖便フタにカバーを取り付ける場合
不適切な便フタカバーをご使用の場合、着座センサーにカバーが掛かり、脱臭ファンが回りっぱなしになる恐れがあります。当社指定の便フタカバーをご使用ください。（☞ 60 ページ ）

STEP
2
シャワーで洗う

おしり洗浄▶ワイド洗浄

局部周辺に付着した汚物を洗い流す機能です。
ノズルの先端からシャワーが出て、おしりを洗浄します。

【おしり】

【止】

洗浄強さ
【+】または【−】

おしり洗浄
●【おしり】を押す

● 止めるときは【止】を押す

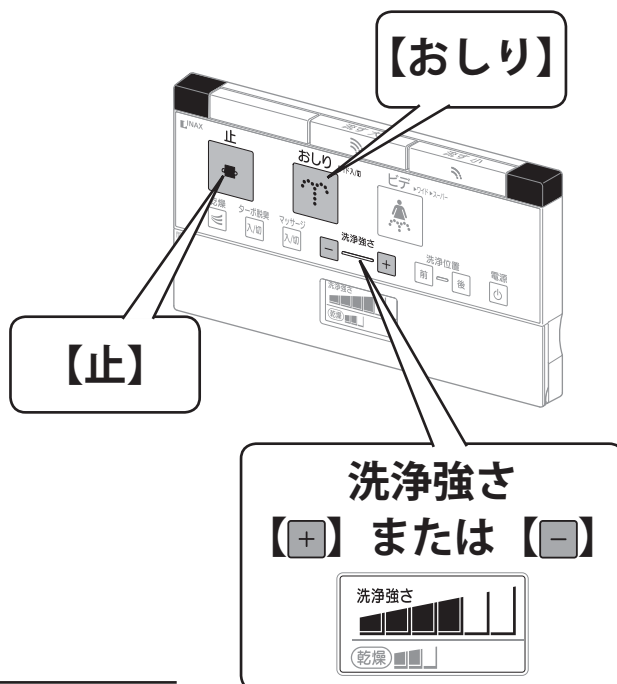
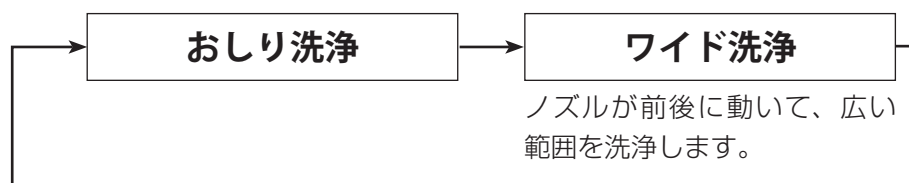
おしり洗浄強さを調節するとき

洗浄強さの
【+】または【−】を押す

※洗浄強さは 6 段階あります。お好みの強さに調節してください。
※洗浄強さは液晶部の洗浄強さ表示に表示されます。

ワイド洗浄をするとき

おしり洗浄中に、もう一度【おしり】を押す

※おしり洗浄中、【おしり】を押すたびに切り替わります。

[注意]
- ●水道圧が低いところでは、洗浄強さを弱くすると、シャワーがおしりに当たらないことがあります。このような場合は、洗浄強さを強くしてください。
- ●便座には、深く腰掛けてください。深く腰掛けるとシャワーの飛び散りが少なくなります。
- ●長時間の洗浄や洗いすぎに注意してください。
  ※常在菌を洗い流してしまい、体内の菌バランスが崩れる可能性があります。
- ●局部の治療･医療行為を受けている方は、使用については、医師の指示を守ってください。

（参考）
- ●おしり洗浄の強さを一番強くしてもまだ弱いと思われる方のために、シャワーの「強」設定をさらに強くする機能が付いています。（☞ 23 ページ）

❖おしり洗浄は
2 分後に自動的に停止するセルフストップ機構付です。

❖ノズルオートクリーニングについて
おしり洗浄の前と後に自動でノズルを洗うノズルオートクリーニング機能が付いています。

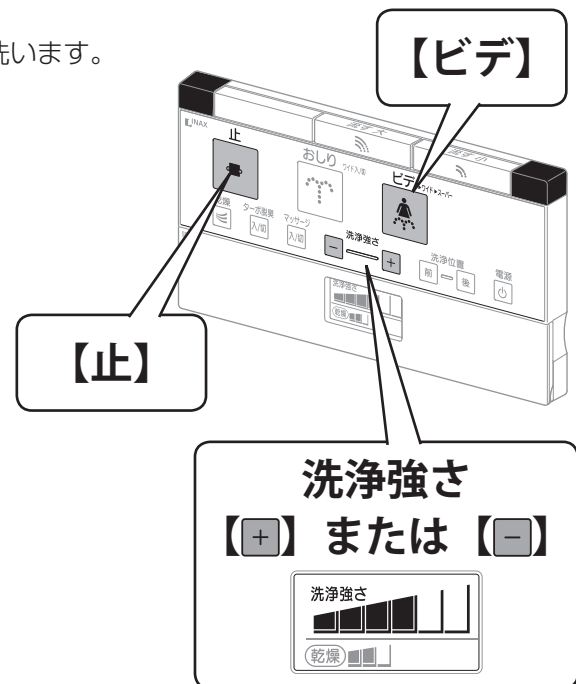
❖ノズル付近から出る水は
洗浄の前後や温水温度スイッチを入れたとき等、ノズル付近から水が出ますが、これは機能上必要なもので、故障ではありません。（☞ 26 ページ）

ビデ洗浄▶ワイド洗浄▶スーパーワイドビデ洗浄

局部周辺に付着した汚れを洗い流す機能です。
ノズルの先端からシャワーが出て、女性のデリケートな部分を洗います。

ビデ洗浄

● 【ビデ】を押す

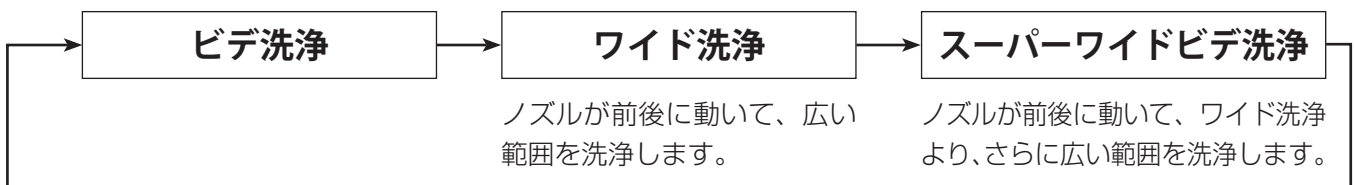
● 止めるときは【止】を押す

ビデ洗浄強さを調節するとき

洗浄強さの
【+】または【−】を押す

※ 洗浄強さは 6 段階あります。お好みの強さに調節してください。
※ 洗浄強さは液晶部の洗浄強さ表示に表示されます。

洗浄モードを切替えるとき

ビデ洗浄中に、もう一度【ビデ】を押す

※ ビデ洗浄中、【ビデ】を押すたびにモードが切り替わります。
※ 洗浄を止め、もう一度【ビデ】を押すと「ビデ洗浄」から始まります。

[注意]

● 水道圧が低いところでは、洗浄強さを弱くすると、シャワーがおしりに当たらないことがあります。このような場合は、洗浄強さを強くしてください。
● 便座には、深く腰掛けてください。深く腰掛けるとシャワーの飛び散りが少なくなります。
● 長時間の洗浄や洗いすぎに注意してください。
　※ 常在菌を洗い流してしまい、体内の菌バランスが崩れる可能性があります。
● 局部の治療・医療行為を受けている方は、使用については、医師の指示を守ってください。

❖ビデ洗浄は

2 分後に自動的に停止するセルフストップ機構付です。

❖ノズルオートクリーニングについて

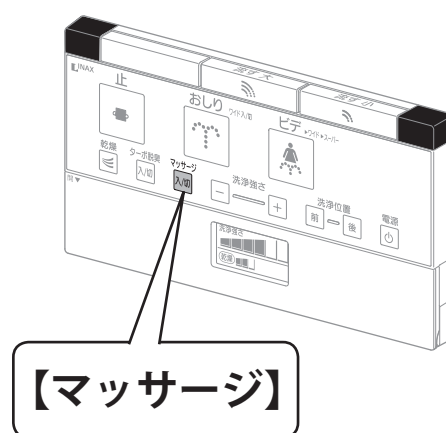
ビデ洗浄の前と後に自動でノズルを洗うノズルオートクリーニング機能が付いています。

マッサージ洗浄

※機種によっては、この機能がない場合があります。

おしり洗浄中、洗浄の強さに強弱をつけてマッサージ洗浄を行います。

● **おしり洗浄中に【マッサージ】を押す**

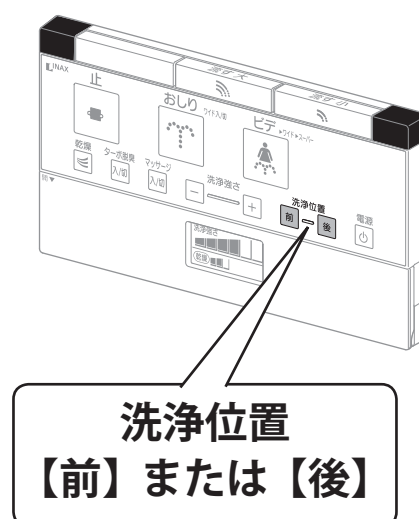
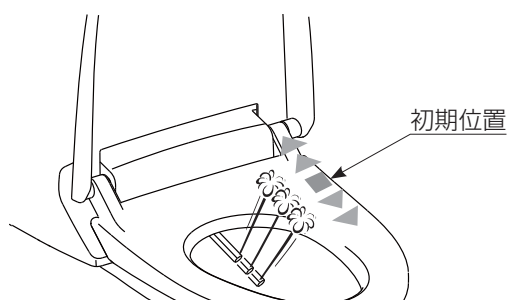
● **マッサージ洗浄を止めるときは、もう一度【マッサージ】を押す**

❖マッサージ洗浄は
マッサージ洗浄の感じ方には、個人差があります。

洗浄位置

※機種によっては、この機能がない場合があります。

おしり洗浄・ビデ洗浄中に、洗浄位置の前・後を調節することができます。

● **洗浄位置の【前】または【後】を押す**

※洗浄位置は5段階に調節することができます。
初期位置、前2段、後2段の計5段階です。
※便座から立ち上がると、自動的に初期位置に戻ります。

STEP 3

温風で乾かす

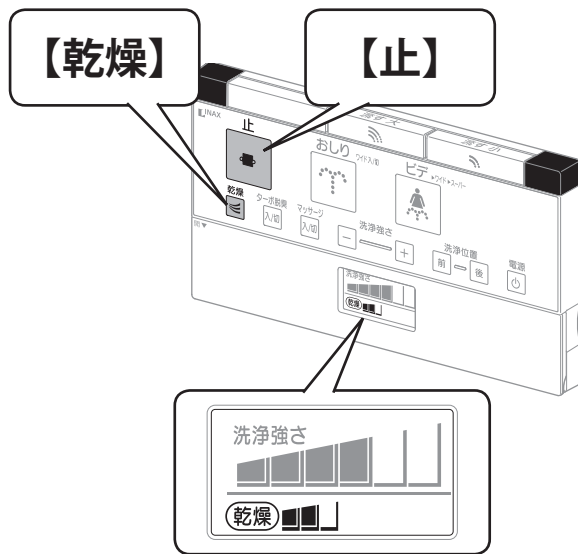
**※この機能のついていない機種があります。
4ページの「保有機能一覧」にてご確認ください。**

温風乾燥

温風が出て、シャワーで濡れた部分を乾燥します。

●【乾燥】を押す

※温風の温度は3段階に調節できます。
※乾燥が作動中は、一時的に脱臭が停止します。

● 止めるときは、【止】を押す

温風温度を変えるとき

乾燥中に、もう一度【乾燥】を押す

※スイッチを押すごとに「中」から「高」→「低」→「中」と温風温度が切り替わり、液晶部に表示されます。
※スイッチを押すたびに液晶表示が切り替わりますのでお好みの温度に設定してください。
※乾燥を止めた後は、初めの設定に戻ります。

⚠警告

指示実行

次のような方が使用されるときは、
周りの方が乾燥温度を「低」にしてください。

- ・お子さま
- ・お年寄り
- ・病気の方
- ・ご自分で温度調節のできない方
- ・皮膚の弱い方
- ・睡眠薬等、眠気を誘う薬を服用された方
- ・深酒された方
- ・疲労の激しい方

※「低」以外の温度で長時間使用されますと、
ヤケドをおこす恐れがあります。

（参考）

●洗浄後、トイレットペーパーでおしりの水滴を軽く取ってから【乾燥】を押せば、素早く乾燥できます。
●温風温度を「高」または「低」から始まるようにする「温風始動温度切替え」機能が付いています。
（☞23ページ）

❖温風乾燥は

4分後に自動的に停止するセルフストップ機構付です。

一般的な使い方

STEP 4

便器を洗浄する

※ この機能のついていない機種があります。
4 ページの「保有機能一覧」にてご確認ください。

フルオート便器洗浄

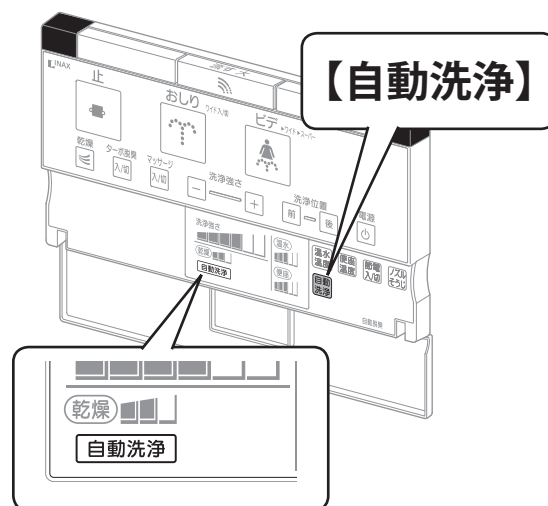
●【自動洗浄】を押す

※ 液晶部に自動洗浄表示が表示されます。
※ 立ち上がると、自動的に便器洗浄を行います。

フルオート便器洗浄を使用しないとき

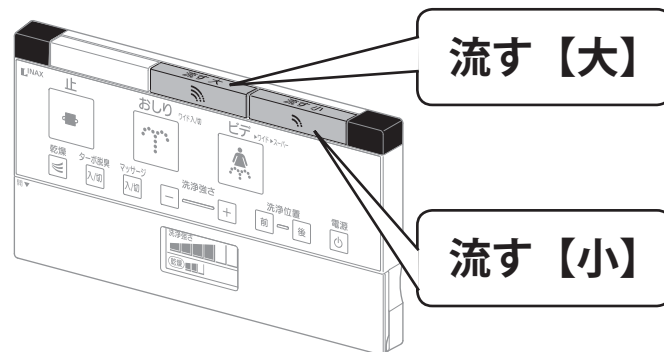
もう一度【自動洗浄】を押す

※ 液晶部の自動洗浄表示が消えます。

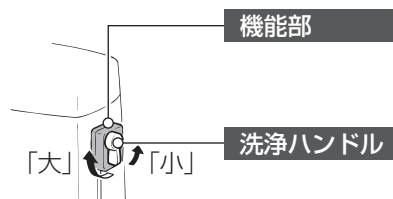
> **[注意]**
> ● フルオート便器洗浄中に電源プラグを抜かないでください。
> ※洗浄水が流れっ放しになります。

リモコン便器洗浄

大・小洗浄便器の場合

大便時は流す【大】を、
小便時は流す【小】を押す

※ 大便時に流す【小】を押すと、汚物が流れないことがあります。

大のみ洗浄便器の場合

大便時は流す【大】を押す

※ 機能部がロータンク部に付いている機種は、洗浄ハンドルを「小」側に手で保持している間だけ小洗浄が行えます。

❖洗浄のタイミングは

フルオート便器洗浄は、便座から立ち上がってから約 6 秒後に便器洗浄します。この 6 秒を約2秒、約1０秒、約1５秒後に切り替えることができます。(☞ 22 ページ)

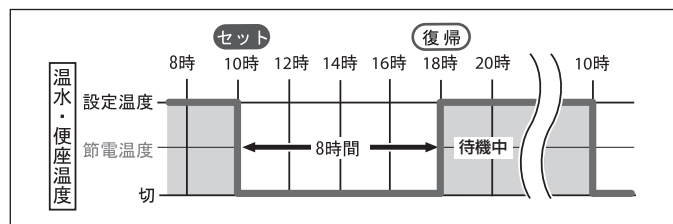
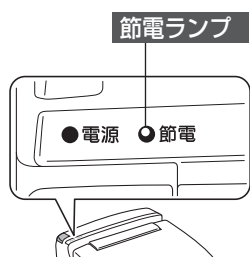
❖大洗浄と小洗浄の区別は

フルオート便器洗浄は、座った時間の長さで「50 秒以上：大洗浄」・「50 秒未満：小洗浄」を行います。
(ただし 50 秒未満でもおしり洗浄を使用した場合は「大洗浄」になります。)

節 電

節電機能にはワンタッチ節電（8 時間）とスーパー節電（常時）の 2 種類があります。スーパー節電を設定した上でさらにワンタッチ節電（8 時間）を併用することで、効果的な節電ができます。お買い上げ時は「切」の状態になっています。

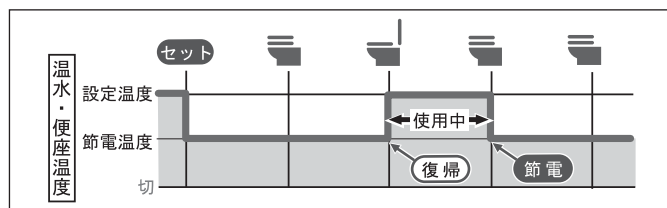
ワンタッチ節電（8 時間）

長時間使用しない夜間等、スイッチを押してから 8 時間、温水と便座のヒーターを「切」にして消費電力を抑える節電機能です。8 時間後、温水温度と便座温度を設定状態に戻し、24 時間ごと（毎日同じ時間から）に繰り返します。

※ 8 時間経過すると、自動的に機能は元の状態に戻り「待機中」になります。「待機中」は、本体表示部の節電ランプは点灯から、1 回ずつの点滅に切り替わります。

（参考）
- 停電時や電源プラグを抜いたときは、ワンタッチ節電の設定がリセットされます。

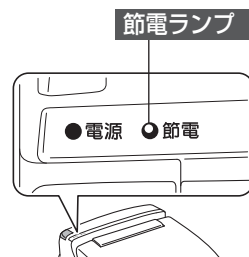
1 【節電】を押す

※本体表示部の節電ランプが点灯します。

スーパー節電（常時）

使用していないとき、温水と便座の温度を下げて消費電力を抑える節電機能です。

※ 使用していないときは常に節電しています。

※ スーパー節電が作動しているときは、本体表示部の節電ランプが 2 回ずつ点滅します。

※ ワンタッチ節電と併用した場合、ワンタッチ節電中（8時間）は本体の節電ランプが点灯し、ワンタッチ節電待機中（16 時間）は節電ランプが 2 回ずつ点滅します。

1 【節電】と【ノズルそうじ】を同じタイミングで 2 秒以上押す

※本体表示部の節電ランプが点滅します。

（参考）
- 節電時は温水と便座の温度を下げているため、冷たいと感じる場合があります。その際は節電を解除してください。
- 節電機能を使用しない場合でも便フタを閉じておくと節電に効果的です。

ワンタッチ節電を解除するとき

【節電】を押す

※ 本体表示部の節電ランプが消灯します。

スーパー節電を解除するとき

【節電】と【ノズルそうじ】を同じタイミングで 2 秒以上押す

※ 本体表示部の節電ランプが消灯します。

ニオイを強力に取り除く【ターボ脱臭】

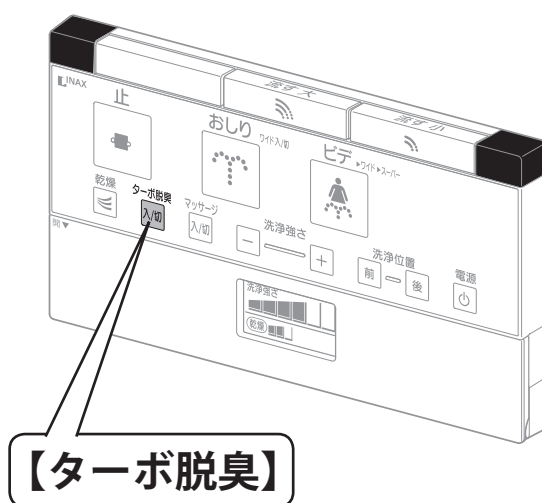
この機能のついていない機種があります。
4 ページの「保有機能一覧」にてご確認ください。

リモコンの【ターボ脱臭】を押すと、自動脱臭時より、さらに強力に便鉢のニオイを除去します。

1 自動脱臭作動中に、【ターボ脱臭】を押す

※脱臭ファンが「ターボモード」になり、便鉢内のニオイの除去機能が向上します。

2 ターボ脱臭を止めるときは、もう一度【ターボ脱臭】を押す

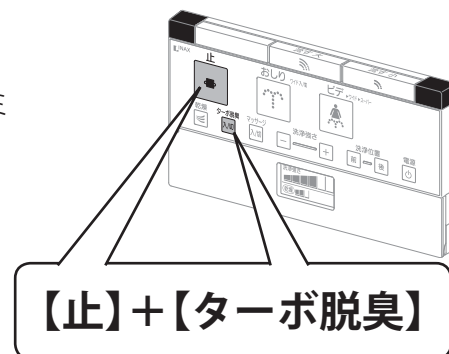
※「ターボモード」から通常の自動脱臭に戻ります。

（参考）
●脱臭ファンは、立ち上がってから 1 分後に自動停止します。

自動脱臭を常にターボモードにするとき

【止】と【ターボ脱臭】を同じタイミングで 2 秒以上押す

※ セット完了時、本体表示部の電源ランプが 2 回点滅します。
※ 脱臭時は、常に「ターボモード」で便鉢内のニオイを除去します。

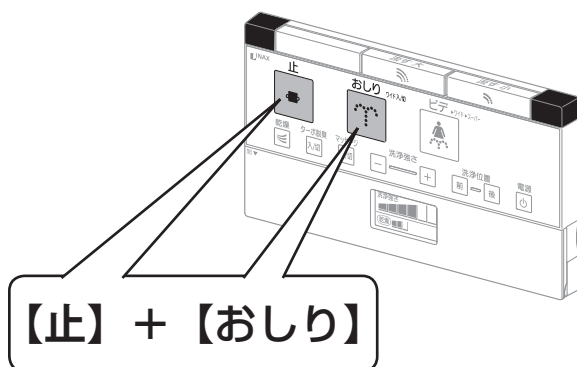
※ 元の設定に戻すときは、もう一度、【止】と【ターボ脱臭】を同じタイミングで 2 秒以上押します。
（セット完了時、本体表示部の電源ランプが２回点滅します。）

便利な使い方

もっと快適に

低温ヤケドを防ぐ（便座ヒーターオート OFF）

便座を暖めているとき（便座ヒーター入）に座ると、自動的に便座ヒーターが「切」になり、低温ヤケドをおこしにくくする機能が付いています。便座ヒーターは、立ち上がると自動的に「入」になります。お買い上げ時は設定されていません。

【止】と【おしり】を同じタイミングで 2 秒以上押す

※セット完了時、本体表示部の電源ランプが２回点滅します。

※この機能を使用中に、連続で使用すると便座がぬるく感じるときがあります。
※立ち上がると自動的に復帰して、設定した便座温度まで暖めます。

元の設定に戻すとき

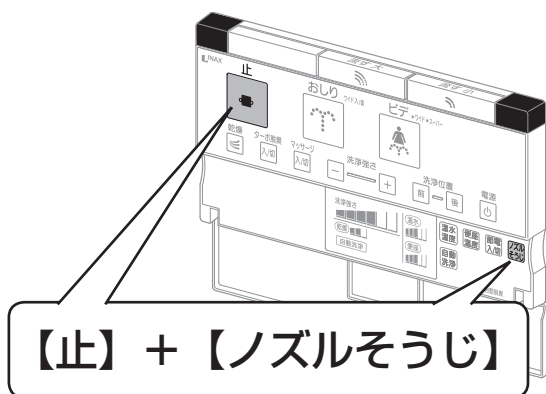
【止】と【おしり】を同じタイミングで 2 秒以上押す

※ セット完了時、本体表示部の電源ランプが２回点滅します。

便器洗浄の開始時間を変更する〈フルオート便器洗浄付の場合〉

フルオート便器洗浄は、立ち上がってから約 6 秒後に、自動的に便器洗浄を開始する機能です。この開始時間を切り替えることができます。お好みに合わせて、切り替えてください。お買い上げ時は、約 6 秒後に設定されています。

【止】と【ノズルそうじ】を同じタイミングで 2 秒以上押す

※ セット完了時、本体表示部の電源ランプが 2 回点滅します。

※ 同じ操作をするたびに、開始時間が、6 秒→ 10 秒→ 15 秒→ 2 秒→ 6 秒…の順に切り替わります。（下図参照）

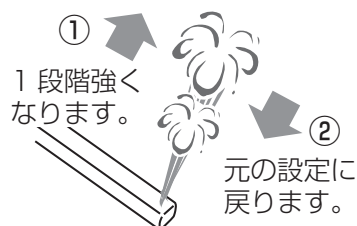
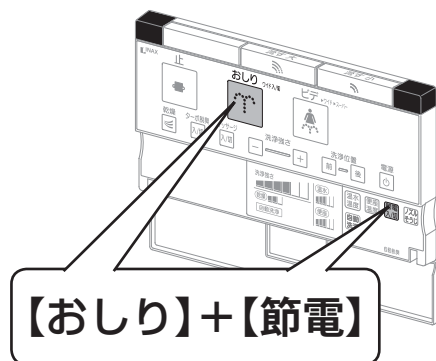
初期設定

→ 6 秒 → 10 秒 → 15 秒 → 2 秒 ─┘（6 秒に戻る）

洗浄強さをさらに強くするとき

おしり洗浄の洗浄強さ「強」を、さらに 1 段階強くすることができます。お買い上げ時は設定されていません。

【おしり】と【節電】を同じタイミングで 2 秒以上押す

※セット完了時、本体表示部の電源ランプが 2 回点滅します。

［ 注意 ］
- 洗浄強さを強くした場合、お湯切れが早くなります。

元の設定に戻すとき

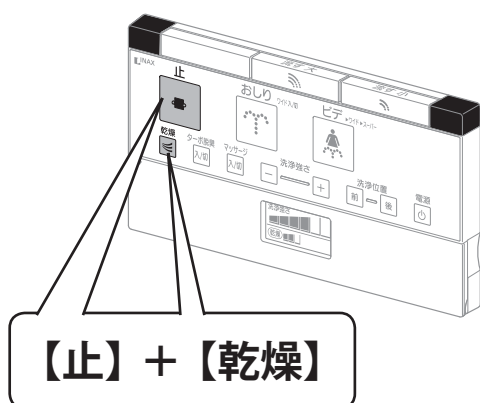
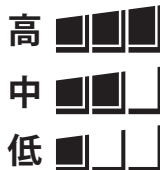
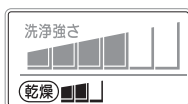
【おしり】と【節電】を同じタイミングで 2 秒以上押す

※ セット完了時、本体表示部の電源ランプが 2 回点滅します。

温風乾燥のはじめの温風温度を変える〈乾燥付の場合〉

温風温度を「高」または「低」から始まるようにすることができます。お買い上げ時は「中」に設定されています。

【止】と【乾燥】を同じタイミングで 2 秒以上押す

※セット完了時、本体表示部の電源ランプが 2 回点滅します。

〈液晶部〉

※乾燥始動時の温風温度が順次切り替わります。
（液晶表示も順次切り替わります。）
※切替え順は下図のとおりです。

セット操作	始動温度	使用中、乾燥スイッチを押したときの温度の切替わり方		
		1 回目	2 回目	3 回目
お買い上げ時の設定	中	高	低	中
1 度目	低	中	高	低
2 度目	高	中	低	高

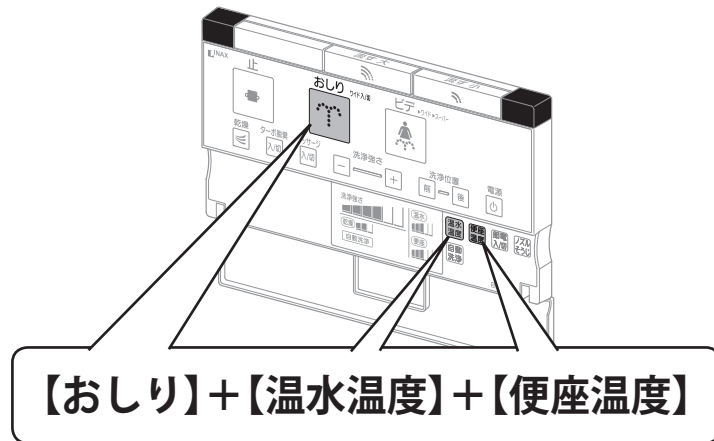
元の設定に戻すとき

【止】と【乾燥】を同じタイミングで 2 秒以上押す操作を乾燥始動時の温度が「中」になるまで、繰り返す

※セット完了時、本体表示部の電源ランプが 2 回点滅します。

お買い上げ時の設定に戻す

「便利な使い方」の操作で本商品の設定を変更した場合でも、全ての機能をお買い上げ時の設定に戻すことができます。

【おしり】、【温水温度】、【便座温度】を同じタイミングで 2 秒以上押す
※セット完了時、本体表示部の電源ランプが2回点滅します。

■お買い上げ時の設定は

お買い上げ時の設定は以下のようになっています。

機能説明	お買い上げ時の設定
自動脱臭の入／切	自動脱臭する
脱臭のモード切替	通常モード
便座ヒーターオート OFF 機能	便座ヒーターオート OFF 機能「切」
温風始動温度の設定	「中」
フルオート便器洗浄	フルオート便器洗浄「入」
フルオート便器洗浄の開始時間	立ち上がってから 6 秒後
節電の入／切	節電しない
温水温度	「低」
便座温度	「低」

変更した設定の記憶について

「便利な使い方」等で設定を変更した場合、コンセントを抜いたり、電源スイッチを「切」にしても変更した設定は記憶されます。（ワンタッチ節電は電源プラグを抜くと設定がリセットされます。（☞ 20 ページ））

知っておいていただきたいこと

着座センサーで誤操作を防止します。

人が座っていないときに誤ってスイッチを押してもシャワーが噴出しないよう、着座センサーが付いています。

※便座に座らないと［おしり洗浄］、［ビデ洗浄］、［乾燥（乾燥付の場合）］の各機能が作動しません。
※便フタカバーを付けた場合、着座センサーが入りっ放しになったり、また入らなかったりすることがあります。

着座センサーは光の反射を利用しているため、次のような場合に作動しないことがあります。

●前にかがんだり、前寄りに座った場合
※便座に深めに座る等、座り方を変えてみてください。
●黒色や毛羽立った生地等の光が反射しにくい衣類を着ている場合
※肌を検知させるようにしてください。
●センサーに汚れや水滴等が付着している場合
※汚れや水滴等を取り除いてください。

電池消耗お知らせサインが付いています。

リモコンの「電池マーク」点滅は、電池消耗をお知らせするサインです。お早めに新しい電池に交換してください。

※部屋の広さ、壁の仕上げや色（特に黒っぽい色）等により、「電池マーク」が点滅する前に使用できなくなる場合があります（信号が弱くなるため）。
※トイレのドアを開けたままや「電池マーク」点滅時にリモコンのスイッチを押すと、まれに信号が本体に届かず作動しない場合があります。

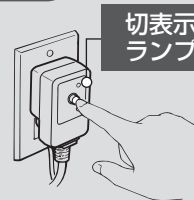
温水になるまで約 10 分かかります。

「おしり洗浄またはビデ洗浄」を長時間使用すると、シャワー温度がしだいに低下し、最後は水になります。温水になるまで約 10 分間かかります。

漏電が起こるとランプが点灯し、電気を遮断します。

本体内部で漏電が発生すると、事故防止のために各機能を停止させ、電源プラグの「切表示ランプ」を点灯させます。また、電源プラグに水がかかると「切表示ランプ」が点灯する場合があります。

切表示ランプが点灯したときは

① 電源プラグをコンセントから抜き、10 秒ほど間をおいて再び差し込みます。
②「リセットボタン」を押してランプを消灯させます。

※上記の操作をしても再びランプが点灯するようであれば、電源プラグをコンセントから抜き、お求めの取扱店または、㈱ INAX メンテナンスへご連絡ください。

便座・便フタはゆっくり閉じます。

便座・便フタには、あやまって閉じたとき等、衝撃をやわらげるため、ゆっくりと閉じるように［スローダウン機構］が装備されています。

※強引に閉じると故障の原因になることがありますのでご注意ください。

シャワーと便座の温度は一定に調節しています。

シャワーは、スイッチの設定に合わせて一定の温度に調節しています。

温水タンク内制御温度

切 (水温)、低（約 32℃）～高（約 40℃）

便座は、スイッチの設定に合わせて一定の温度に調節しています。

便座温度

切 (室温)、低（約 28℃）～高（約 40℃）

こんなときは

ノズルの付近から出る水は？

洗浄の前後や温水温度を調節したとき等、ノズル付近から水が出ますが、これは機能上必要なもので、故障ではありません。

※ 上記以外のときやいつまでも水が止まらない場合は、止水栓を閉め、電源プラグをコンセントから抜き、お求めの取扱店または㈱ INAX メンテナンスへご連絡ください。

使いはじめに温風がにおう。〈乾燥付の場合〉

新しいうちは、温風が少しにおうことがありますが、故障ではありません。
ご使用とともに消えます。

ラジオやテレビに雑音が入る。

シャワートイレにラジオやテレビを近づけると、雑音が入ることがあります。このような場合は、雑音が入らない位置までラジオやテレビを離して使用してください。

使う洗剤は？

便座や便フタ等のプラスチック部のお手入れには、中性洗剤等、プラスチックに害のない洗剤を使用してください。
また、便器部（陶器）のお手入れには、塩素系・酸性洗剤・消毒剤を使用しないでください。

省エネのために。

- ●使用後は便フタを閉じる
- ●便座カバーを取り付ける
- ●便座や温水の設定はむやみに高温にしない
- ●季節の気温に合わせてこまめに温度調節する
- ●節電機能のある機種ではできるだけ節電機能を利用する
- ●長時間の外出等、不在時はこまめに電源を切る

※ 便座カバーは当社指定のカバーを使用し、こまめに洗濯して清潔さを保ってください。
※ 凍結の恐れがある場合は、電源プラグはコンセントから抜かず、電源を入れておく必要があります。「凍結しそうなときは」をご参照ください。
(☞ 45 ページ)

洗浄ハンドルが途中で止まったら。〈フルオート便器洗浄付の場合〉

自動洗浄の作動中、またはリモコン便器洗浄中に停電が起きたり、故意に電源プラグを抜くと、洗浄ハンドルが途中で止まってしまいます。そのままでは洗浄水が流れっ放しになってしまいますので、以下の手順にしたがって洗浄ハンドルを元に戻してください。

(1) 洗浄ハンドルを引っぱりながら（矢印①）、下に降ろして（矢印②）洗浄水を止めます。
このとき洗浄ハンドルは、通常よりも少し浮いた状態になります。

(2) 停電が終わりましたら、リモコンの流す【大】を押して作動させます。
本体内部のモーターが作動し、洗浄ハンドルが通常の位置まで戻ります。

おそうじ・お手入れ

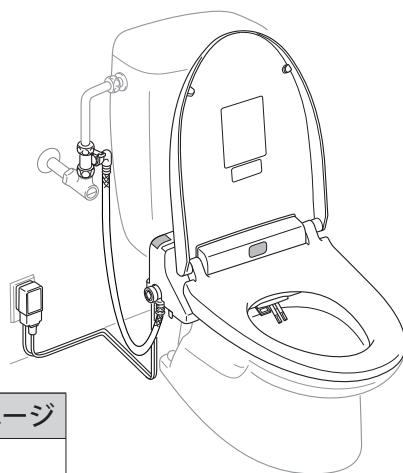
おそうじの場所と汚れの種類

便フタ・便座	28 ページ
ホコリ・手アカ・小水のシミ	

ノズルシャッター	30 ページ
水アカ・小水のシミ	

ノズル	31 ページ
水アカ・小水のシミ	

便座と便フタのすき間	35・37 ページ
ホコリ・手アカ・小水のシミ	

便器
便器の取扱説明書をご覧ください。

[注意]
●**お手入れをするときは、必ずリモコンの【電源】を押して、本体表示部の電源ランプ（☞ 11 ページ）が消灯していることを確認してください。**
※ノズルシャッターやノズルの掃除を行う場合は、電源を入れた状態で行ってください。

⚠警告

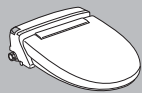
水かけ禁止

シャワートイレ本体や電源プラグに水や洗剤をかけないでください。
※感電・火災の原因になります。

⚠注意

指示実行

プラスチック部のお手入れは、便座に使用できる（プラスチック用）洗剤を使用してください。
※トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、クレゾール等を使用すると、プラスチック部が破損し、ケガ、感電、火災の恐れがあります。

□おそうじ・お手入れ方法

便座・便フタのおそうじ

便座・便フタ・カバー類（プラスチック部）のおそうじ

●柔らかい布で水ぶきをしてください。

●お手入れにはINAX純正の「トイレ用おそうじティッシュ」または「シャワートイレお掃除クリーナー」（別売品）をおすすめします。（☞ 60 ページ）

水ぶきするのはなぜ？

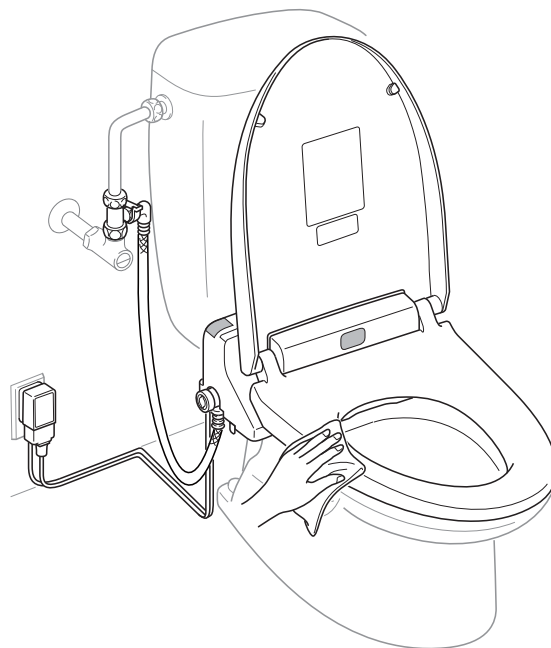
汚れは放っておくと落ちにくくなりますので、固くしぼった柔らかい布でこまめに水ぶきをしましょう。
また、水ぶきは静電気を防ぎます。静電気はホコリを引き寄せ、黒く汚れる原因になります。

使用できる洗剤は？

INAX純正の「トイレ用おそうじティッシュ」または「シャワートイレお掃除クリーナー」をおすすめします。

市販の便座用洗剤も使用できますが、中には適さない商品もあります。
ご不明な点は、洗剤メーカーにご確認してからご使用ください。

［注意］
●乾いた布やトイレットペーパーでふかないでください。
※キズつきの原因になります。

※別売品の購入方法については「別売品のご案内」（☞ 60 ページ）をご覧ください。

すき間もおそうじがしたい

本体を浮かせたり本体を外して、便器と本体の間も楽に掃除ができます。（☞ 35、37 ページ）
便フタも簡単に外せます。（☞ 29 ページ）

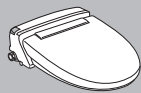
❖抗菌部位について

ノズル・便座・便フタ・カバーに抗菌プラスチックを、リモコンには抗菌シートを採用しています。

❖キレイ便座について

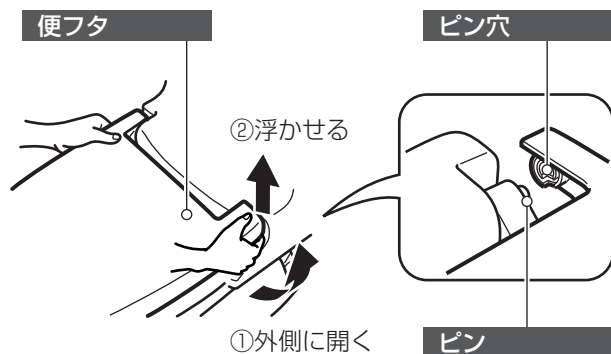
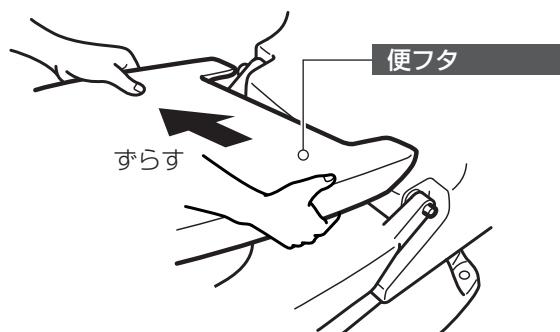
キレイ便座は、汚れのたまりやすい便座のつなぎ目をなくした、お掃除のしやすい便座です。

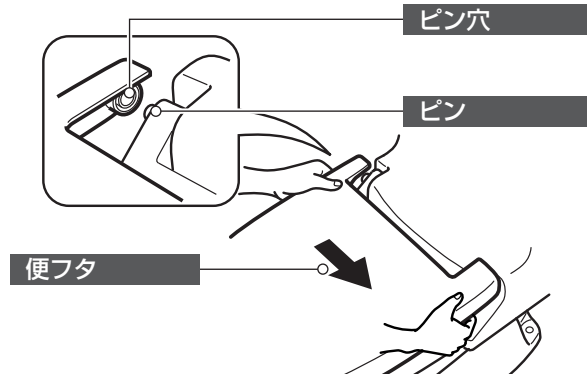
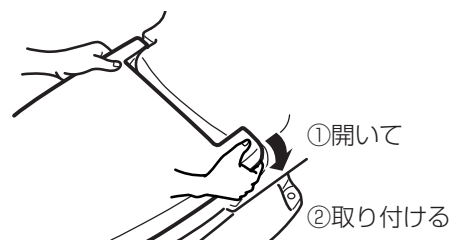
❖ KILAMIC 抗菌商品について

●KILAMIC抗菌商品は、商品表面の細菌の繁殖を抑える効果を持ちますが、ホコリ・油膜等が表面を覆った場合には、十分な抗菌効果を発揮できないことがあります。
●KILAMIC抗菌商品は、商品表面の細菌の繁殖を抑える効果を持ちますが、細菌が全くなくなるわけではありません。従って感染等が防げるわけではありません。
●抗菌製品技術協議会の抗菌製品規格SIAAに適合した製品です。
KILAMIC抗菌商品は、経済産業省と抗菌製品技術協議会（SIAA）の推進によって抗菌JIS規格（JISZ2801）からISO規格（ISO22196）になりました。

便フタを外してそうじする

便フタは、簡単に外せます。普段、隠れているヒンジ部を掃除するときや便フタを丸洗いするのに便利です。

便フタの取外し

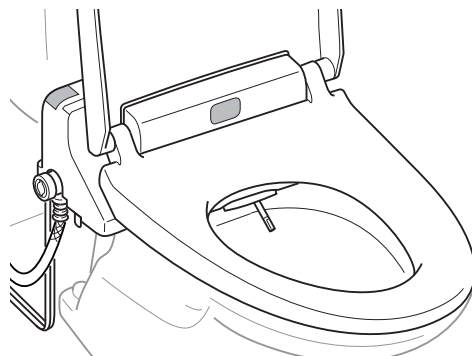
1 便フタ右側のピン穴を外側に開き、ピンから外して浮かせる

2 便フタを左側にずらし、便フタを外す

便フタの組付け

1 便フタ左側のピン穴と本体左側のピンを合わせて差し込む

2 便フタ右側のピン穴を外側に開き、ピン穴とピンを合わせて、便フタを取り付ける

[注意]

- **便フタに無理な力を加えないでください。**
  ※ 破損する恐れがあります。
- **便フタを外した状態で便座を開かないでください。**
  ※ カバーや便座がキズつく恐れがあります。
- **便フタを外したまま使用しないでください。**
  ※ 便フタを閉じた状態で外して使用した場合は、おしり洗浄、ビデ洗浄、脱臭（脱臭付の場合）、乾燥（乾燥付の場合）の各機能が作動しません。

ノズルシャッターを清潔に

●柔らかい布やスポンジに中性洗剤を染み込ませ、水またはぬるま湯でふいてください。

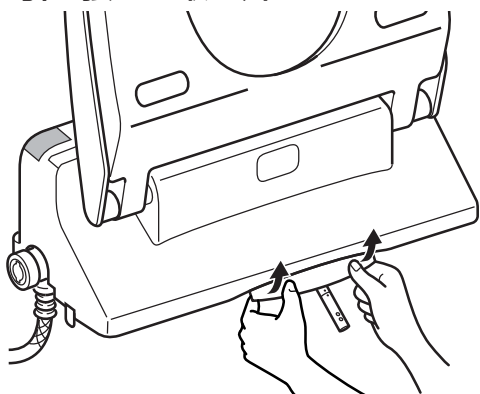
［注意］
●乾いた布やトイレットペーパーでふかないでください。
※キズつきの原因になります。

ノズルシャッターを取り外し、掃除することもできます。

ノズルシャッターの取外し

1 【自動洗浄】〈フルオート便器洗浄付の場合〉を「切」にする
※「切」にしないと人を検知して、勝手に水が流れる場合があります。

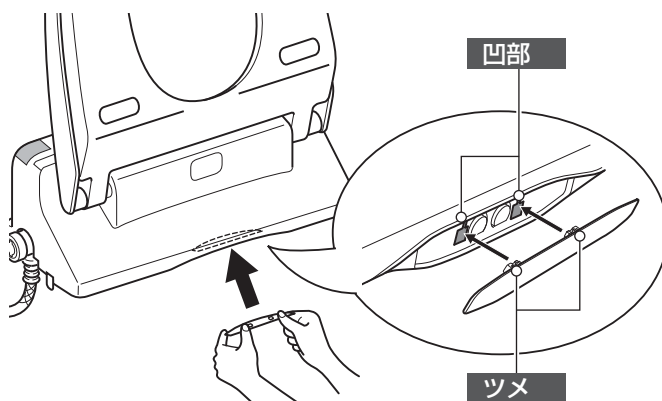
2 便フタ・便座を開く

3 【ノズルそうじ】を押し、ノズルが出た後に【止】を押し、ノズルの動きを止める
※おしりノズルが出て、ノズルシャッターを押し上げます。

4 ノズルシャッターを両手で持ち上げ、上方に引っ張り、取り外す

5 【止】を押し、出ているノズルを戻す

6 取り外したノズルシャッターを掃除する

ノズルシャッターの取付け

1 ノズルが出ていない状態で、ノズルシャッターのツメ（2 か所）をベース面の凹部に強く押し込む
※ノズルが出ている場合は、止スイッチを押して戻します。

［注意］
●“カチッ”と音がするまで押し込んでください。また、シャッターが正しく取り付けられたことを確認してください。
●シャッターには、上下の向きがあり、決まった方向にしか取付けできません。
●無理な力を加えないでください。
※破損する恐れがあります。

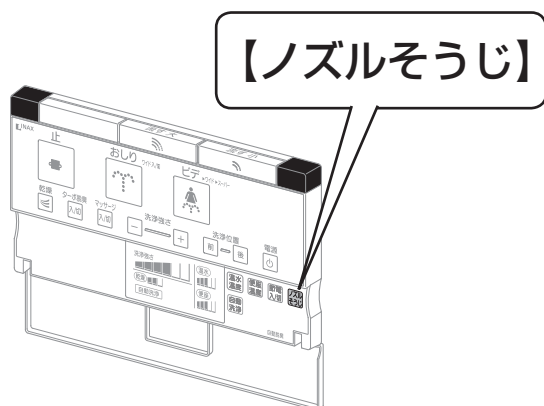
ノズルのおそうじ

ノズルの掃除には、以下の方法があります。
●使用中（着座中）にお好みでノズルを洗うことができます。**“リモコンノズル洗浄”**
●日頃の掃除時、しつこい汚れは、ノズルを電動で動かし、スポンジ等で掃除ができます。

使用中（着座中）のノズルそうじ

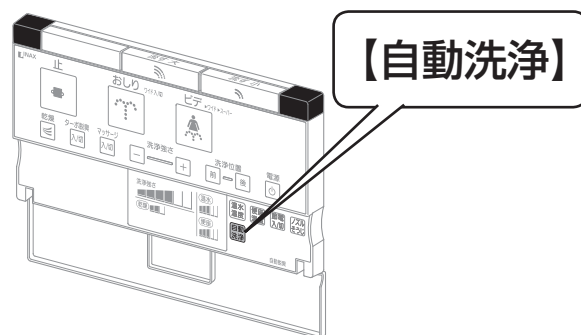
●使用中(着座中)にノズルを洗いたい。（リモコンノズル洗浄）

1 【ノズルそうじ】を押す

※ノズルが本体に収納されたまま、約３秒間洗浄します。
※おしり洗浄およびビデ洗浄の前後に、ノズルやその周辺を自動洗浄する**オートクリーニング機能**が付いています。

お手入れ時のノズルそうじ

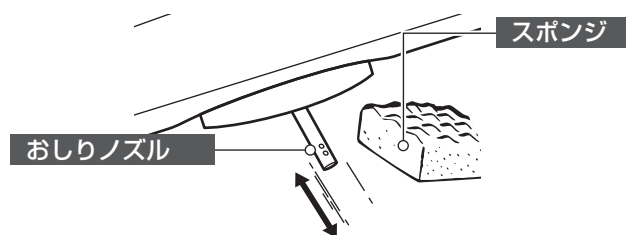
●お手入れ時、ノズルをしっかり掃除したい。

1 【自動洗浄】〈フルオート便器洗浄付の場合〉**を「切」にする**

※「切」にしないと人を検知して、勝手に水が流れる場合があります。

2 便フタ・便座を開く

3 【ノズルそうじ】を押す

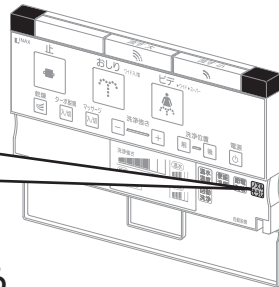
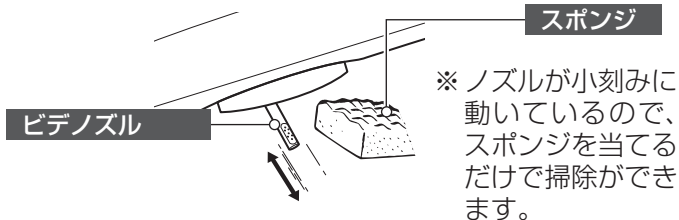
※ノズル付近から約３秒間水が出た後、おしりノズルが伸びてきて小刻みに前後に動きます。このとき、シャワーは噴出しません。

4 おしりノズルを掃除する

※ノズルが小刻みに動いているので、スポンジを当てるだけで掃除ができます。
※約１分たつと、ノズルは自動で戻ります。
ノズルが戻った後に、もう一度【ノズルそうじ】を押すと、再びおしりノズルが伸びます。

（参考）
●掃除中にノズルシャッターが外れた場合、「ノズルシャッターの取付け」(☞ 30 ページ）をご覧ください。

お手入れ時のノズルそうじ（つづき）

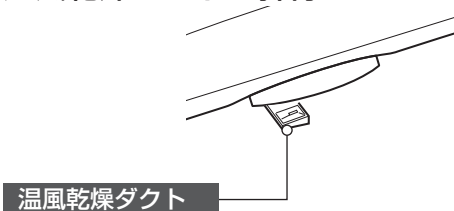
5 【ノズルそうじ】を押す

※おしりノズルが戻り、替わってビデノズルが伸びてきます。

6 ビデノズルを掃除する

※ノズルが小刻みに動いているので、スポンジを当てるだけで掃除ができます。

※約 1 分たつと、ノズルは自動で戻ります。ノズルが戻った後に、【ノズルそうじ】を 2 度押すと、再びビデノズルが伸びます。

7 【ノズルそうじ】を押す

〈乾燥付の場合〉
※ビデノズルが戻り、替わって温風乾燥ダクトが伸びてきます。
〈乾燥無の場合〉
※ビデノズルが戻ります。

〈乾燥付の場合〉
8 温風乾燥ダクトを掃除する

※温風乾燥ダクトは、柔らかい布等で、ふいてください。
※約 5 分たつと､温風乾燥ダクトは自動で戻ります。温風乾燥ダクトが戻った後に、【ノズルそうじ】を 3 度押すと、再び温風乾燥ダクトが伸びます。

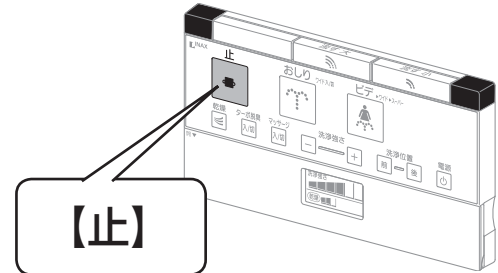
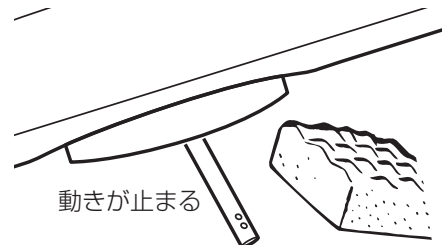
9 【ノズルそうじ】を押す

※温風乾燥ダクトが戻ります。

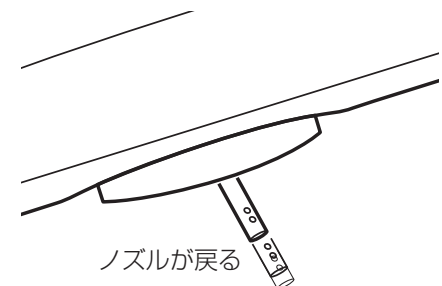
> [注意]
> **●リモコンの【ノズルそうじ】を押すときは､誤って【止】を押さないように注意してください。**
> ※ノズルの動きが止まったり、ノズルが戻ったりします。

ノズルの動きを止めるとき

1 【止】を押す

※動きが止まります。

※動きが止まった状態で約 5 分たつとノズルは自動で戻ります。この場合、ノズルが戻った後に、もう一度【ノズルそうじ】を押すと、再びノズルが伸びます。

2 もう一度、【止】を押す

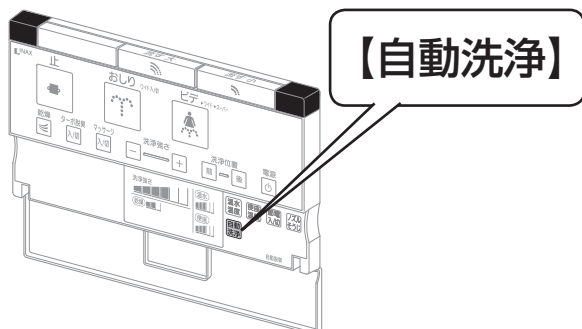
※ノズルが戻ります。

> [注意]
> **●ノズルに強い力をかけないでください。**
> ※故障の原因になります。
> **●ノズルを無理やり手で引っ張り出したり、押し戻したりしないでください。**
> ※ノズルが引っこまなくなり、故障の原因になります。
> もし、誤って引っ張り出したり、押し戻したりした場合は、電源プラグをコンセントから抜き、10 秒ほど待ってから再び、電源プラグを差し込んでください。

ノズルの先端を取り替えたい

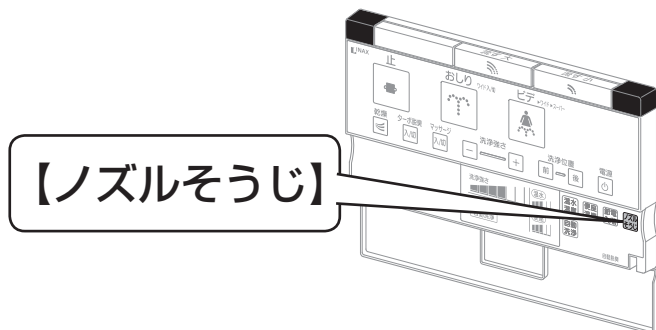
ノズル先端の汚れが落ちない場合は、先端のみ交換することができます。
※別売品の購入方法については「別売品のご案内」(☞ 60 ページ)をご覧ください。

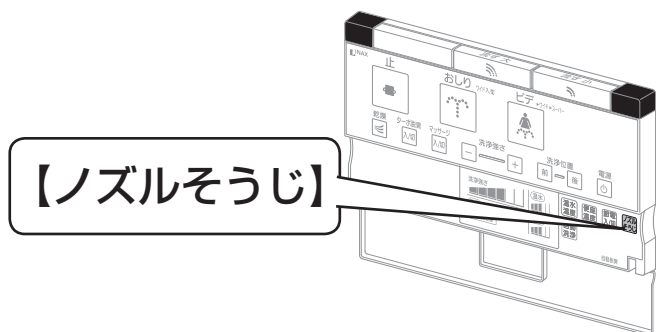
ノズルの取外し

1 【自動洗浄】〈フルオート便器洗浄付の場合〉**を「切」にする**

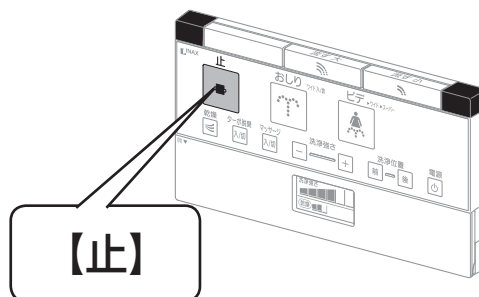
※「切」にしないと人を検知して、勝手に水が流れる場合があります。

2 便フタ・便座を開く

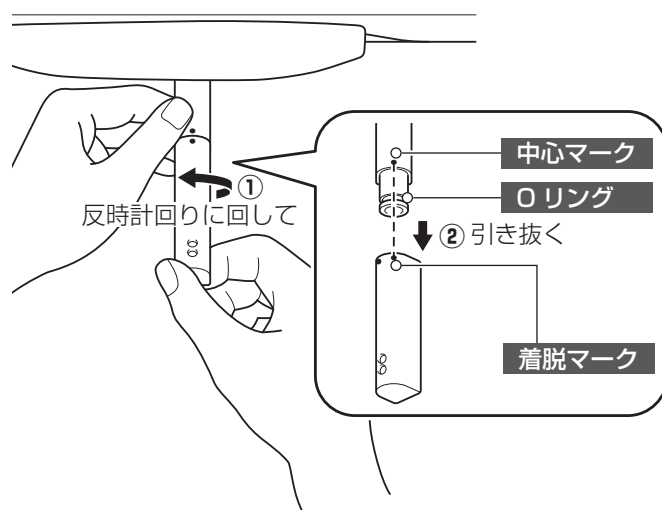
3 【ノズルそうじ】を押す

※おしりノズルが前に出てきて前後に動きます。
※ノズル付近から水が出ます。

〈ビデノズルを交換したい場合〉
もう一度 、【ノズルそうじ】を押す

※ビデノズルが前に出てきて前後に動きます。

[注意]
● 着座中は、ノズル先端の交換をすることができません。

4 【止】を押して、ノズルの動きを止める

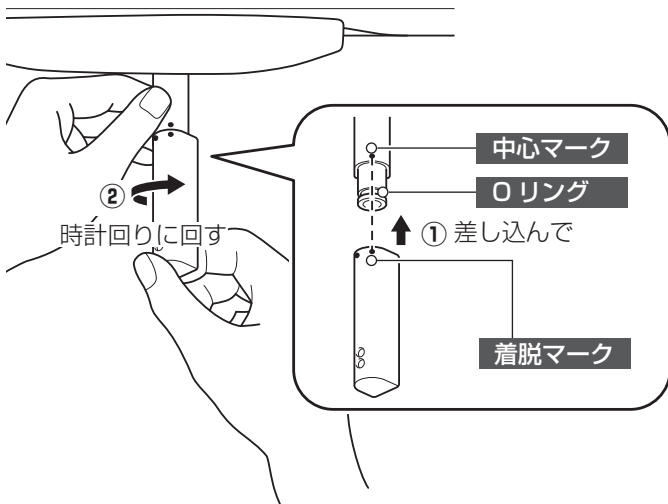
※ノズルは約 5 分間動きを止めますので、この間にノズルを交換します。
(ノズルは約 5 分後に本体に戻ります。)

5 「ノズル先端」を反時計回りに回して「ノズル先端右側の着脱マーク」と「ノズル本体中心マーク」を合わせ、引き抜く

※少しノズルを引っ張り出し、ノズルの奥側を手で押えて取り外してください。

※ノズルが停止している間に「ノズルの取付け」(☞ 34 ページ)の手順にしたがって新しいノズルに交換してください。

ノズルの取付け

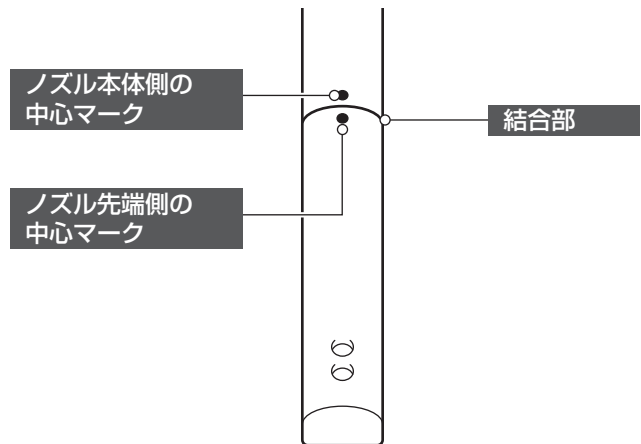
※ノズル本体が引っ込んでしまった場合は、もう一度「ノズルの取外し」2～5の操作をしてノズルを出してください。

1「ノズル先端右側の着脱マーク」と「ノズル本体の中心マーク」を合わせて、奥までしっかり差し込み、ノズル端を動かなくなるまで時計回りに回す

※ノズルの奥側を手で押えて取り付けてください。

［注意］

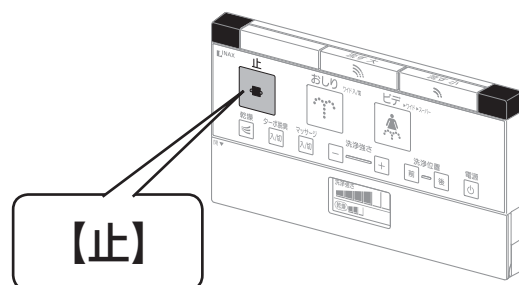
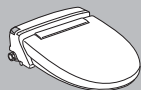
●ノズル本体の「O リング」をキズつけないようにしてください。

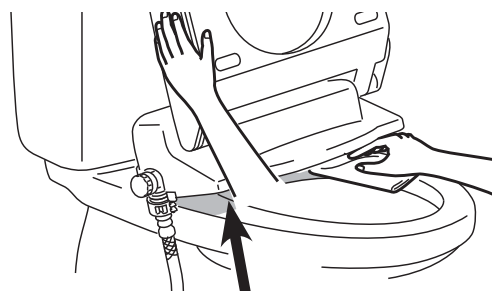
※漏水の原因になります。

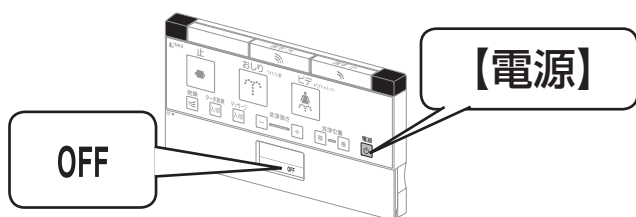
2「結合部」を確認する

［注意］

●取付後、ノズル本体側とノズル先端側の「中心マーク」が合っていること、また「結合部」が平らになっていることを確認してください。

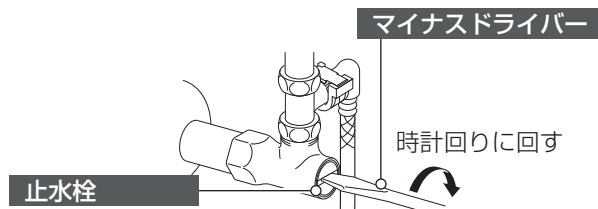
※故障する恐れがあります。またシャワー洗浄の角度が変わってしまう恐れがあります。

3【止】を押して、ノズルを戻す

隠れた部分のおそうじ　【お掃除スライドアップ】

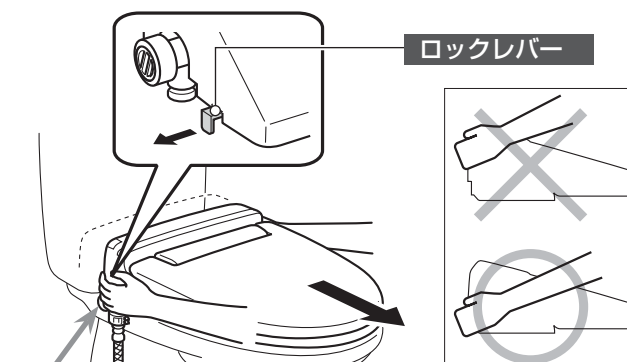
簡単に本体を浮かせて、便器と本体の間が掃除できます。
日頃の汚れを手軽に掃除したいときに便利です。

本体の浮かせかた

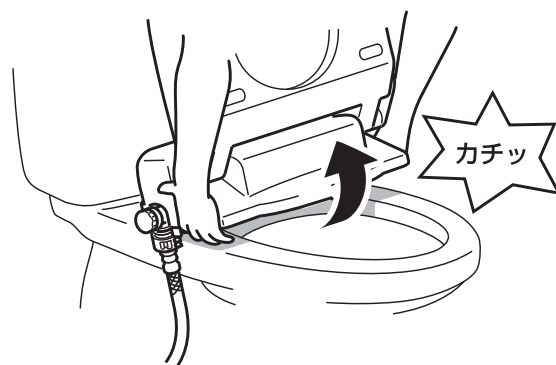
1 【電源】を押し、「切」にする

[注意]
● 電源を切ってからスライドしてください。
※ 故障の原因になります。

2 止水栓を閉めて給水を止める

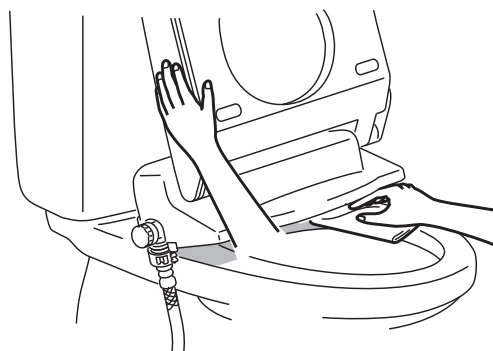
※ 止水栓は調節されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。

3 ロックレバーを引きながら、本体を一番手前までスライドさせる

本体向かって左側にあるロックレバーを引きながら、**手前に少し持ち上げるように**スライドさせます。
※ このとき、いったんロックレバーが内側に戻りますので、本体が少し移動したら指を離してください。

本体を完全に手前にスライドさせないと、浮かせることはできません。

4 便座・便フタを開き、本体手前側をロックするまで静かに浮かせる

カチッと音がするまで浮かせます。
便フタがロータンクに強く当たらないようにゆっくり持ち上げてください。

5 便座を支えながら、便器と本体の間を掃除する

本体が倒れて指を挟まないように、掃除するときは便座を支えながら行ってください。

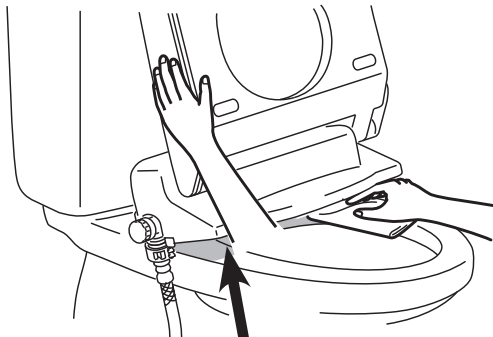
[注意]
● 本体が倒れて指を挟む恐れがあります。

（参考）
● 掃除中にノズルシャッターが外れた場合、「ノズルシャッターの取付け」（☞ 30 ページ）をご覧ください。

隠れた部分のおそうじ

シャワートイレ本体の掃除は・・・

- **柔らかい布で水ぶきをしてください。**
- **お手入れにはINAX純正の「トイレ用おそうじティッシュ」または「シャワートイレお掃除クリーナー」（別売品）をおすすめします。****（☞ 60 ページ）**

便器部の掃除は・・・

- **便器の取扱説明書にしたがってください。**

ここの掃除ができます。

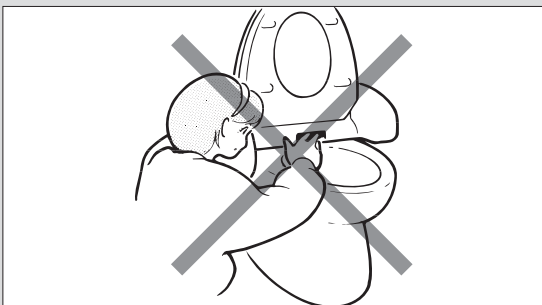
⚠警告

水かけ禁止

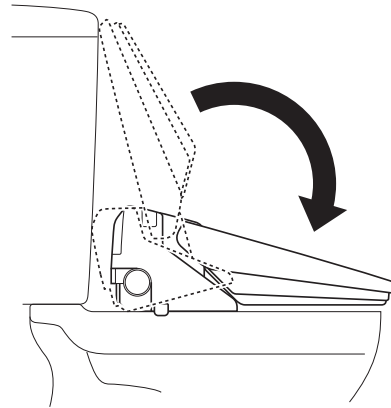
シャワートイレ本体や電源プラグに水や洗剤をかけないでください。

※感電・火災の原因になります。

［注意］

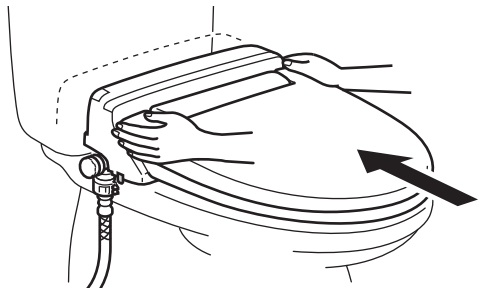
- **便器を掃除しているとき、洗剤が本体にかからないように注意してください。また、便器に洗剤が残らないように水ぶきしてから本体を取り付けてください。**
  ※洗剤が本体に付着すると故障の原因になります。
- **開口部やノズル付近に手や物を入れないでください。**
  ※手をケガしたり、故障の原因になります。

本体の戻しかた

1 便座・便フタをゆっくり降ろす

便座・便フタを降ろした後、本体を上から軽く押え確実に降りていることを確認する

2 本体を奥までスライドさせる

本体を完全に奥までスライドさせないと使用時、本体がぐらついたり、便器から外れることがあります。

※ カチッと音がなるまでしっかりと押し込み、本体のロックレバーが確実に奥まで入っていることを確認してください。

固定後、本体をかるく前後左右に揺らして、確実に固定されていることを確認する

3 止水栓を元の位置まで開く

4 【電源】を押し、「入」にする

■再び使用するとき

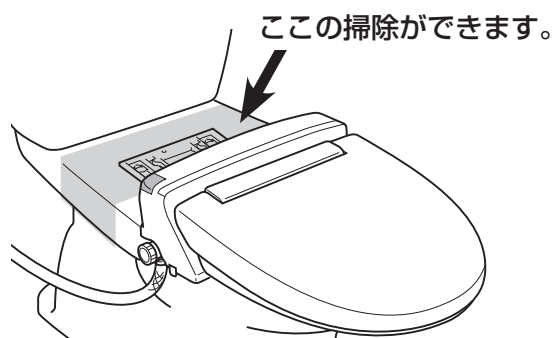
必ず、ご使用前の準備と確認を行ってください。（☞ 11 ページ）

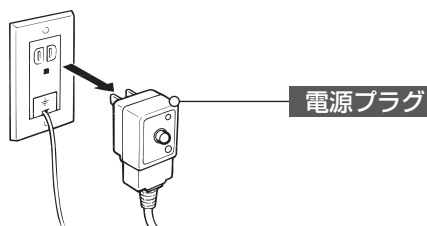
［注意］

- **本体が確実に固定されていること（本体のロックレバーが確実に奥まで入っていること）を確認してください。**
  ※固定が不十分ですと便器から本体が外れることがあります。
- **ホース類を無理に曲げないでください。**
  ※つぶれて元に戻らなくなったり、給水しなくなります。

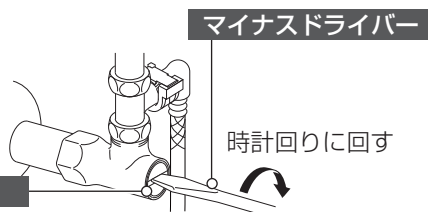
隠れた部分のおそうじ 【本体スライド着脱】

本体を外して便器全体や本体裏側の掃除ができます。
細かいところまで、しっかり掃除したいときに便利です。

※ 分岐金具と本体の給水接続が接続銅管の場合は、本体を外して掃除することはできません。

本体の取外し

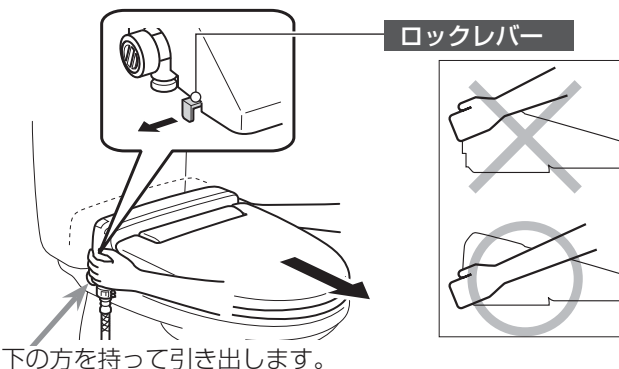
1 電源プラグをコンセントから抜く

[注意]
● **電源プラグを必ずコンセントから抜いてください。**
※ 故障の原因になります。

2 止水栓を閉めて給水を止める

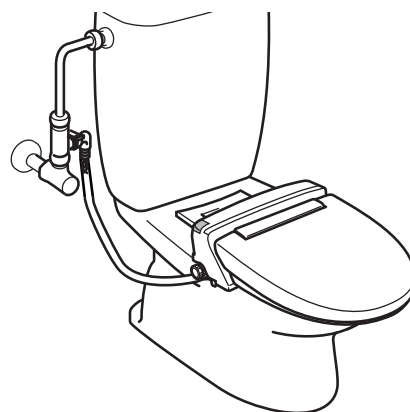
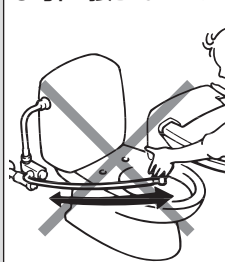
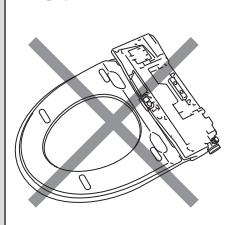
※ 止水栓は調節されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。

3 温水タンクの水を抜く（☞ 44 ページ）

※ 温水タンク内に水が入っていると、漏電の恐れがあります。

4 本体の移動

本体向かって左側にあるロックレバーを引きながら、**手前に少し持ち上げるように**スライドさせます。
※ このとき、いったんロックレバーが内側に戻りますので、本体が少し移動したら指を離してください。

5 本体を外す

再度ロックレバーを引きながら、本体を手前にスライドさせます。

6 本体を便器リム部に静かに置く

[注意]
● **コード類や本体給水ホースを引っぱらないでください。**
※ 破損や漏水の恐れがあります。
● **本体の取外時や掃除時には、ていねいに扱ってください。**
※ 漏水・故障の原因となります。
● **本体は、電源を入れたまま絶対に裏返さないでください。**
※ 故障の原因になります。

隠れた部分のおそうじ

シャワートイレ本体の掃除は・・・

- **柔らかい布で水ぶきをしてください。**
- **お手入れにはINAX純正の「トイレ用おそうじティッシュ」または「シャワートイレお掃除クリーナー」（別売品）をおすすめします。****（☞ 60ページ）**

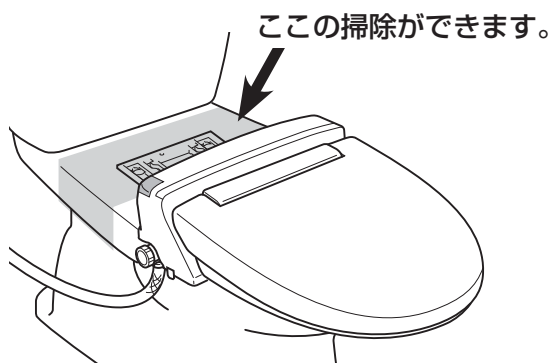
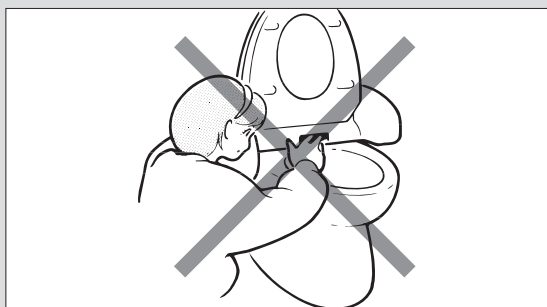
便器部の掃除は・・・

- **便器の取扱説明書にしたがってください。**

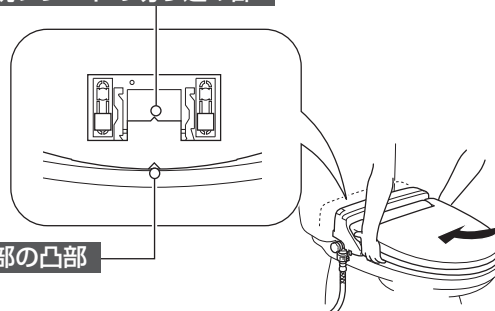
⚠警告

シャワートイレ本体や電源プラグに水や洗剤をかけないでください。

※感電・火災の原因になります。

[注意]

- **便器を掃除しているとき、洗剤が本体にかからないように注意してください。また、便器に洗剤が残らないように水ぶきしてから本体を取り付けてください。**
  ※洗剤が本体に付着すると故障の原因になります。
- **開口部やノズル付近に手や物を入れないでください。**
  ※手をケガしたり、故障の原因になります。

本体の組付け

1 本体を取り付ける

① **シャワートイレ本体を便器の上に置き、本体着脱プレートの切り込み部と本体後部にある凸部を合わせる**

② **手前を少し浮かせるようにして、本体を本体着脱プレートが見えなくなるまで奥にゆっくりスライドさせる**

※カチッと音がなるまでしっかりと押し込み、本体のロックレバーが確実に奥まで入っていることを確認してください。

固定後、本体をかるく前後左右に揺らして、確実に固定されていることを確認する

2 止水栓を元の位置まで開く

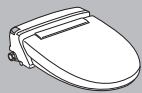
各部に漏水がないことを確認してください。

3 電源プラグをコンセントに差し込む

■再び使用するとき

必ず、ご使用前の準備と確認を行ってください。
（☞ 11ページ）

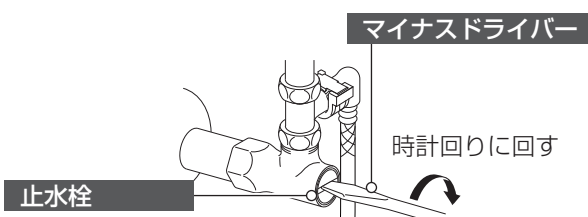
[注意]

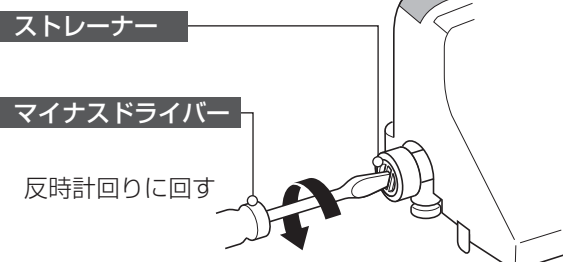
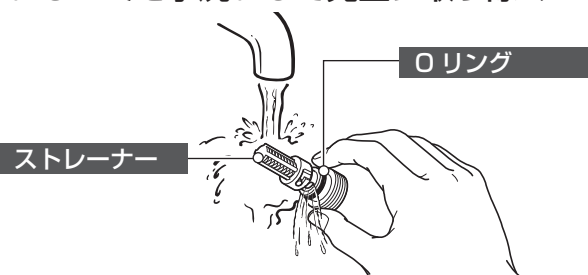
- **本体が確実に固定されていること（本体のロックレバーが確実に奥まで入っていること）を確認してください。**
  ※固定が不十分ですと便器から本体が外れることがあります。
- **ホース類を無理に曲げないでください。**
  ※つぶれて元に戻らなくなったり、給水しなくなります。

シャワーが弱くなったら

長期間使用して便器洗浄やシャワーの勢いが弱くなりはじめたら、以下の手順でストレーナーの掃除を行ってください。
（目安としては 2 年に 1 回程度です。）

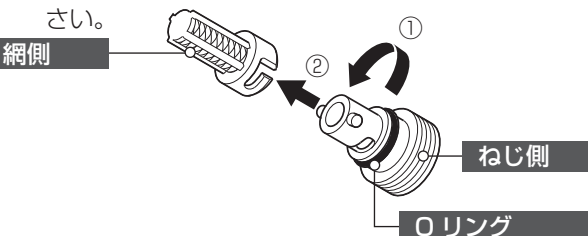
ストレーナーのおそうじのしかた

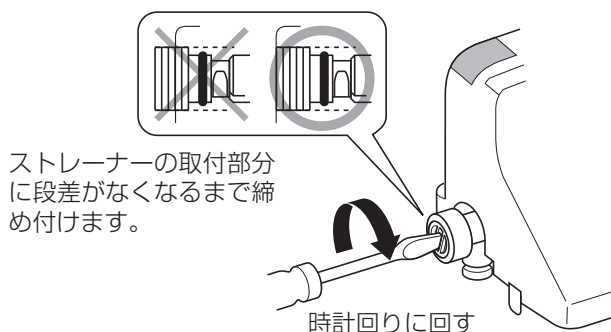
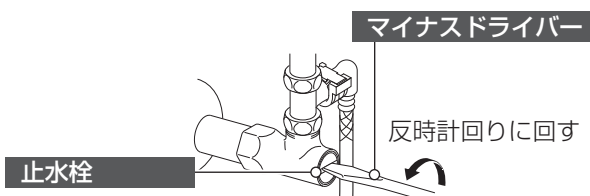
1 「止水栓」を閉めて、給水を止める

※ 止水栓は調節されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。

2 本体向かって左下の「ストレーナー」を工具で回して外す

※ このとき少量の水がこぼれますので、洗面器等を下に置いてください。

3 「ストレーナー」や「O リング」に付いているゴミを水洗いして完全に取り除く

■ ストレーナーの汚れがひどい場合は

ストレーナーをねじ側と網側に外し、水洗いしてください。

※ O リングをキズつけないように注意してください。O リングが切れたり、キズついたりすると漏水します。
※ 鋭利な物等で、網をキズつけないよう注意してください。

［ 取付時の注意 ］
●ストレーナーを外して水洗いした場合は、しっかりはまっていることを確認してください。

4 「ストレーナー」を工具で確実に取り付ける

5 「止水栓」を元の位置まで開く

6 止水栓部から水漏れしていないか確認する

⚠注意

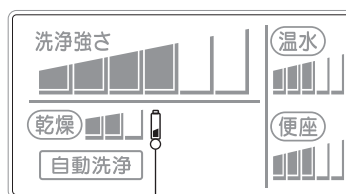
指示実行

●ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてください。
●ストレーナーを取り付ける際は、段差がないようにしっかり閉めてください。
●ストレーナーを取り付ける際は、ゴミが O リングに付着していないことを確認してください。
※ O リングにゴミが付着していると、漏水し室内浸水の原因になります。

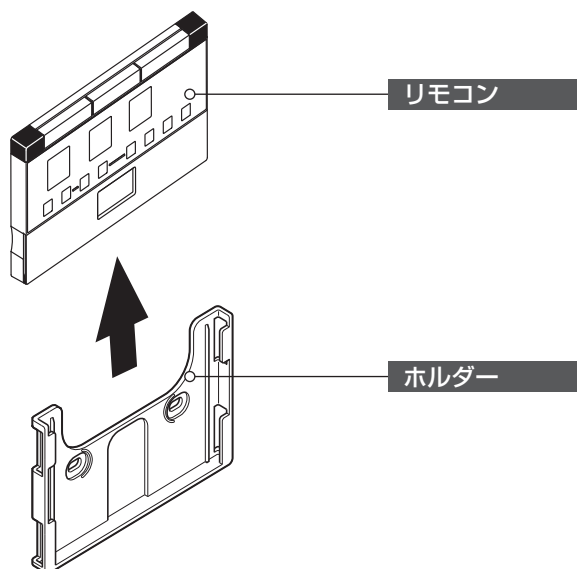
リモコンの電池マークが点滅したら

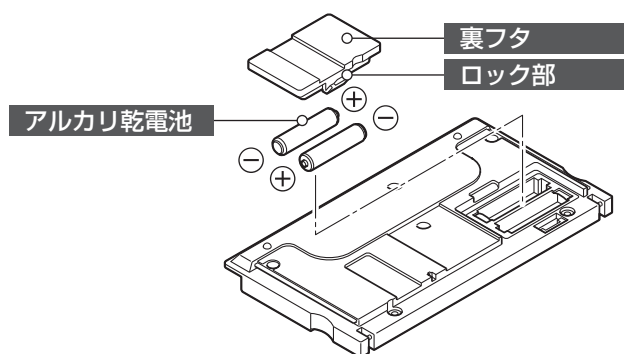
電池消耗により、「電池マーク」が点滅します。(☞ 25 ページ)

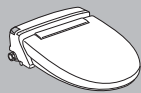
［注意］
- 電池のプラスとマイナスの向きをリモコン表示通り正しく入れてください。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください。
- アルカリ乾電池を使用してください。

〈液晶部〉

洗浄強さ
温水
乾燥
便座
自動洗浄
電池マーク

リモコンの電池交換

1 「リモコン」を上に持ち上げて、「ホルダー」から外す

2 「裏フタ」を外し、新しい「乾電池」(1.5V アルカリ単三、2 本) に取り替える

※ 裏フタが外しにくい場合は、マイナスドライバー等の工具にてロック部を解除して外してください。

3 「裏フタ」を元通りにはめ、「リモコン」を「ホルダー」に上から差し込む

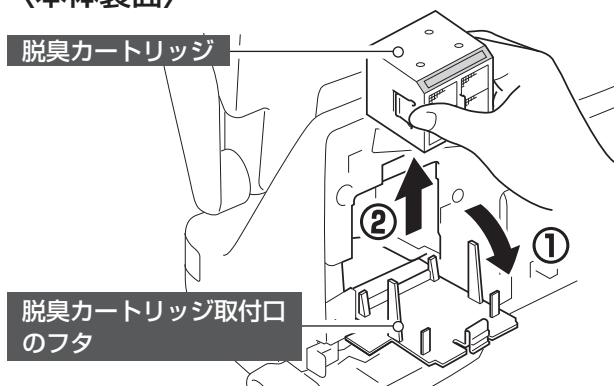
(参照)
- 電池マークは電池が消耗したときのみ点滅します。通常は表示されません。
- 付属の電池は施工時の動作チェック用のため、一般に市販されている電池に比べ寿命が短い場合があります。
- 部屋の広さ、壁の仕上げや色(特に黒っぽい色)等により、「電池マーク」が点滅する前に使用できなくなる場合があります。

脱臭効果が弱くなったら

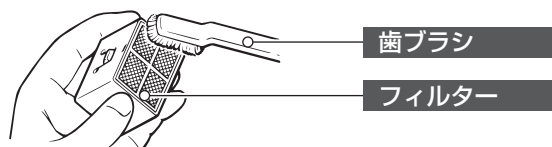
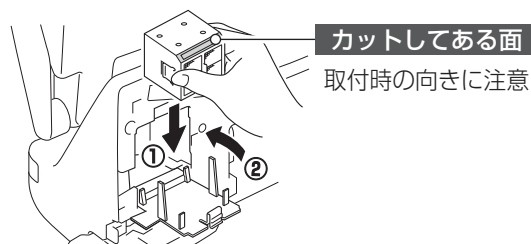
「脱臭カートリッジ」にホコリ等が付着すると十分な脱臭ができなくなります。ニオイが気になりだしたら、お手入れしてください。

脱臭カートリッジのお手入れのしかた

1 本体を便器から外す
（☞ 37 ページ）

2 本体裏面にある、「脱臭カートリッジ取付口」のフタを開け、脱臭カートリッジを取り出す

〈本体裏面〉

［注意］
●「脱臭カートリッジ」本体は水洗いできません。

3「フィルター部」のホコリ等を歯ブラシ等で取り除く

4「脱臭カートリッジ」を組み付ける

5 本体を便器に取り付ける（☞ 38 ページ）

⚠注意

脱臭カートリッジ取付口の奥に指を入れないでください。
※ ケガの原因になります。

■再び使用するとき
必ず、ご使用前の準備と確認を行ってください。
（☞ 11 ページ）

■「脱臭カートリッジ」のお取替えについて
お手入れしてもまだニオイが気になる場合、「脱臭カートリッジ」の寿命ですので、新品と交換してください。
「脱臭カートリッジ」の寿命は、通常使用で約 7 年です。
※「脱臭カートリッジ」の寿命は、4 人家族（男性 2 人、女性 2 人）の平均使用時間を基本としています。
※お取替用の「脱臭カートリッジ」のお求めは、「別売品のご案内」（☞ 60 ページ）をご覧ください。

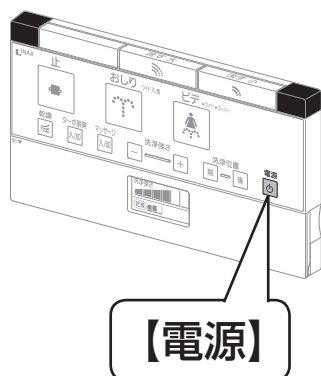
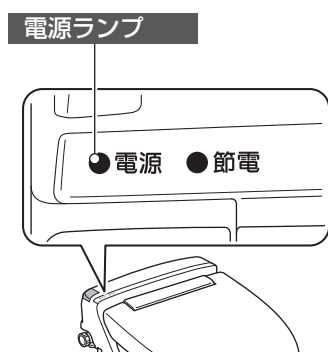
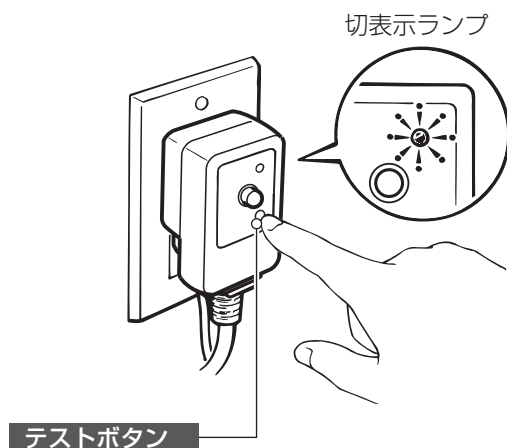
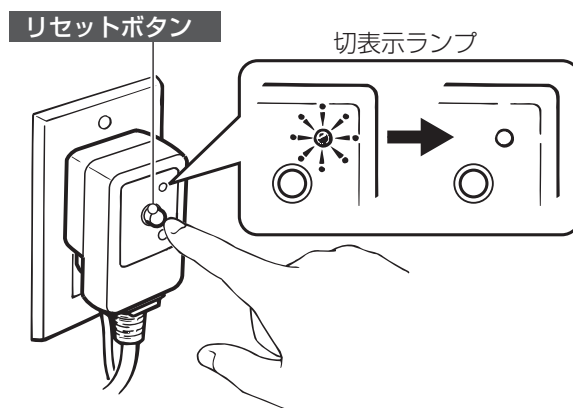
■使用開始日の記入
シャワートイレ使用開始日を日付記入欄に記入し、「脱臭カートリッジ」交換目安としてください。また、交換後は新しい「脱臭カートリッジ」にある日付ラベルに使用開始日を記入してください。

シャワートイレ使用開始日をご記入ください。
年　　　月　　　日

電源プラグ（漏電保護機能付）の点検

電源プラグには漏電保護機能が付いています。電源プラグの故障は、思わぬ事故につながることがあります。必ず点検を行ってください。

点検の目安は月に 1 ～ 2 回程度

1【電源】を押して「入」にする

2「電源ランプ」の点灯を確認する

3 電源プラグの「テストボタン」を押して、「切表示ランプ」が点灯することを確認する

4「リセットボタン」を押して、「切表示ランプ」が消灯することを確認する

※ この点検を行うと、ワンタッチ節電の設定が解除されます。
その場合はもう一度セットし直してください。

定期的な点検のお願い

負圧破壊装置（バキュームブレーカー）の点検

負圧破壊装置（バキュームブレーカー）の点検の目安は、

取付けの日から 6 年後です。

有料になりますが、定期的に点検を受けていただくことをおすすめします。
負圧破壊装置（バキュームブレーカー）の点検は（株）INAX メンテナンスまでご依頼ください。（下記参照）
（株）INAX メンテナンスにご依頼した場合、点検料金の内訳は、点検料（技術料）+ 出張料 + 部品代（交換した場合）です。

お求めの取扱店または
（株）INAXメンテナンス　修理受付センター
TEL 0120-1794-11
FAX 0120-1794-56
受付時間9:00～20:00（365日受付）
ホームページアドレス　http://www.i-mate.co.jp

定期的な部品交換のお願い

摩耗劣化する部品交換のお願い

- 部品が摩耗・劣化すると水漏れ等の原因になりますので交換が必要です。
- 摩耗劣化する部品の例
  例）止水弁、温水タンク、洗浄ノズル、便座、便フタ、スローダウン、電動開閉ユニット、温風ファン、脱臭ファン、部屋暖房ファン等
- 部品の交換については、お求めの取扱店または（株）INAX メンテナンスにご依頼ください。製品状況により、摩耗箇所以外の部品交換も必要な場合があります。

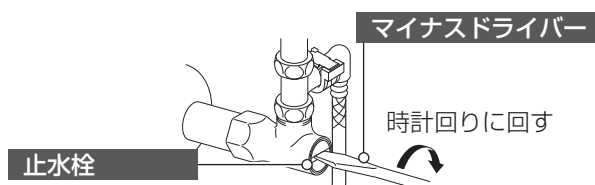
〈定期的な点検・部品交換の目安〉

長期間使用しないときは

以下の場合は温水タンクの水抜きを必ず行い、止水栓を閉め、電源を抜いてください。
●旅行等で長い間、シャワートイレを使用しないとき。(水が汚れて詰まりの原因になります。)
●別荘等で使用しないとき。(人のいない家では予想以上に温度が下がり、凍結する恐れがあります。)

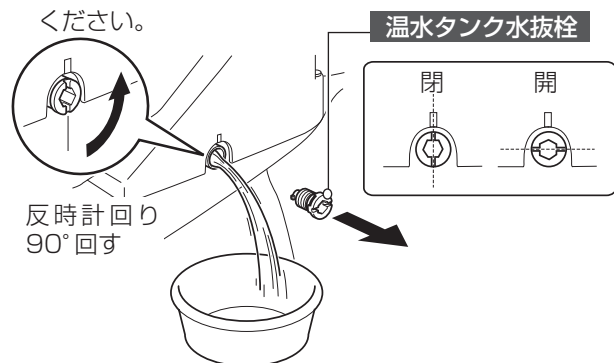
温水タンクの水抜きのしかた

1 「止水栓」を閉めて、給水を止める

※ 止水栓は調節されているので、元の位置(どのくらい回したか)を覚えておいてください。

2 洗浄ハンドルを操作して、ロータンク内の水を抜く

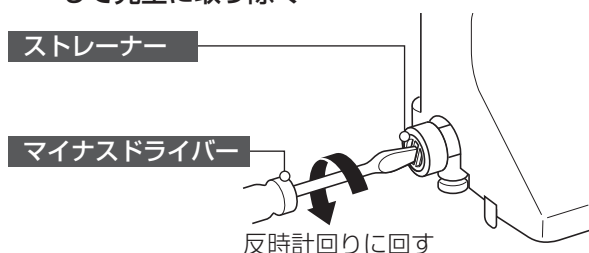
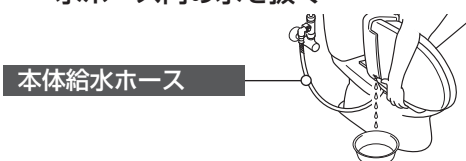
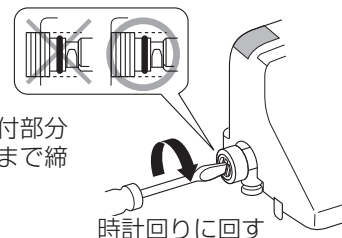
3 電源プラグをコンセントから抜く

4 温水タンクから水抜栓を外して、温水タンクから水を抜く

あらかじめ水受け(約 1L 以上入るもの)を用意します。
マイナスドライバーを使って、水抜栓を反時計回りに 90° 回して外します。
※ 出し始めは水の勢いが強い場合がありますので、ご注意ください。

5 水抜き完了後、水抜栓を取り付ける

マイナスドライバーを使って、水抜栓を時計回りに 90° 回して確実に取り付けます。

6 本体給水ホースから水を抜く

① **ストレーナーの下に洗面器等を置く**
② **ストレーナーを工具で回して外して、ストレーナー部や O リング部に付いているゴミを水洗いして完全に取り除く**

③ **シャワートイレ本体を便器から取り外す**
④ **本体を傾けてストレーナー取付口から、本体給水ホース内の水を抜く**

⑤ **水抜き完了後、ストレーナーを工具でしっかりと締め付ける**

⑥ **シャワートイレ本体を便器に組み付ける**

7 電源プラグをコンセントに差し込む

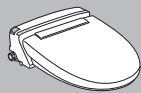
8 【おしり】を押し、本体バルブ内の水を抜く

※ 着座センサーを手で覆って【おしり】を押してください。

9 約 5 秒後、【止】を押す

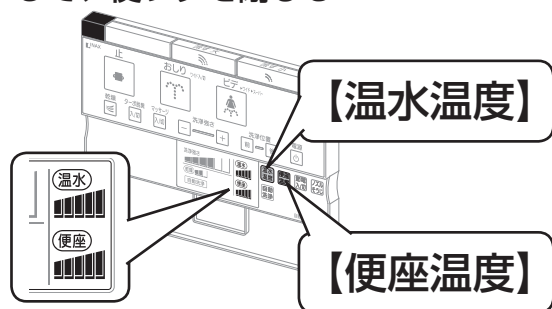
■再び使用するとき
必ず、ご使用前の準備と確認を行ってください。
(☞ 11 ページ)

⚠注意

●ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてください。
●ストレーナーを取り付ける際は、段差がないようにしっかり閉めてください。
●ストレーナーを取り付ける際は、ゴミが O リングに付着していないことを確認してください。
※ O リングにゴミが付着していると、漏水し室内浸水の原因になります。

凍結しそうなときは

冬期等の冷え込みが厳しい場合、シャワートイレ内の水が凍って破損することがあります。凍結破損を防止するために以下の作業を行ってください。（電源プラグはコンセントから抜かず、電源を入れておきます。また、節電機能は解除します。）

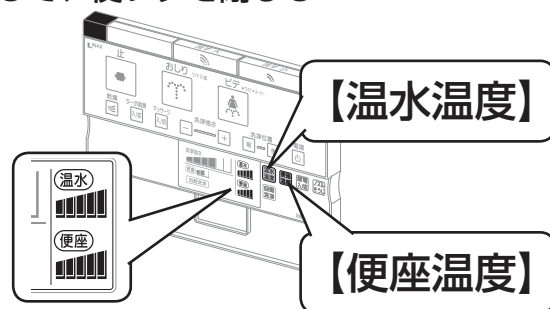
一般的な凍結防止方法

1【温水温度】を「高」、【便座温度】を「高」にして、便フタを閉じる

2 節電を解除する（☞ 20 ページ）

3 室内を暖房する

※もし室内が暖房できない場合は、44 ページ1～3、6～9の手順で本体給水ホースから水を抜いてください。

流動式便器の凍結防止方法

1【温水温度】を「高」、【便座温度】を「高」にして、便フタを閉じる

2 節電を解除する（☞ 20 ページ）

3 室内を暖房する

※もし室内が暖房できない場合は、44 ページ1～3、6～9の手順で本体給水ホースから水を抜いてください。

4 便器本体の流動ハンドルを操作する

※ロータンク内の水が絶えず便器内に流れるようにします。詳しくは、便器の取扱説明書をご覧ください。

■再び使用するとき
必ずご使用前の準備と確認を行ってください。（☞ 11 ページ）

⚠警告

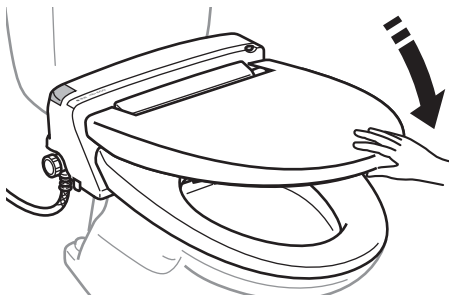
指示実行

凍結の恐れがある場合は、必ず凍結防止操作を行ってください。
※凍結破損により火災・室内浸水の原因になります。

■もし凍結してシャワーが出なくなったら
万一、給水ホースや給水接続部が凍結し、シャワーが噴出しない場合は、温かいお湯に浸した布等で、給水ホースや給水接続部を温めてゆっくり解凍するか、または室内を暖めて自然解凍を待ってください。

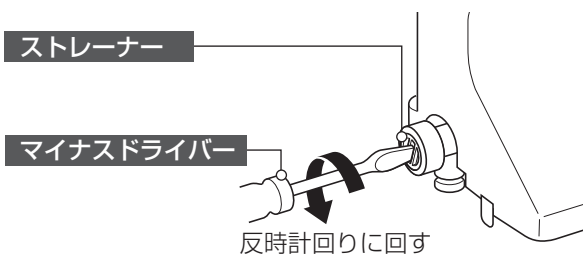
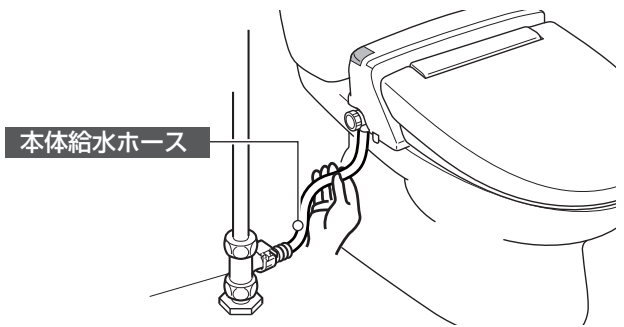
［注意］
- **給水ホースに熱湯や熱風をかけないでください。**
  ※給水ホースが破損する恐れがあります。
- **凍結している部分によっては、解凍中に水が噴出することがあります。解凍中は、こまめに様子をうかがってください。**

水抜栓による凍結防止方法

1 【温水温度】を「高」、【便座温度】を「高」にして、便フタを閉じる

2 水抜栓を操作して、配管内の水を抜く

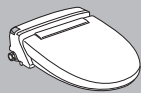
3 洗浄ハンドルを操作して、ロータンク内の水を抜く

4 本体給水ホースから水を抜く。

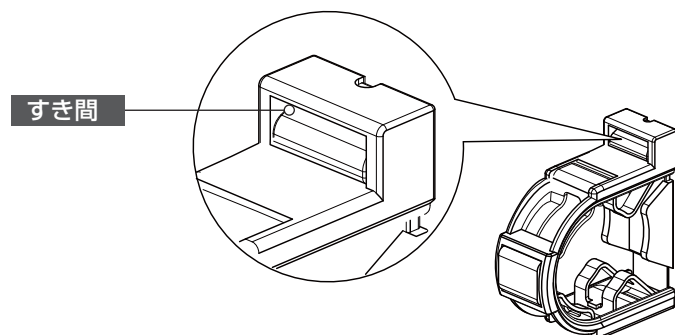
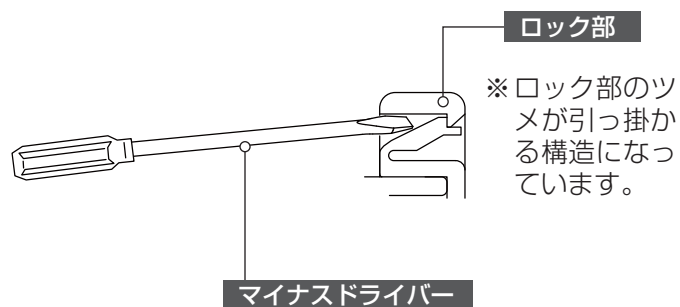
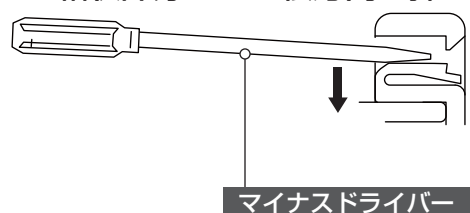
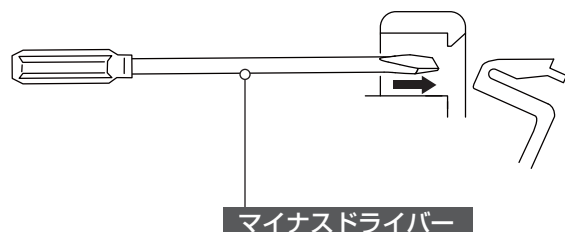
① ストレーナーの下に洗面器等を置く
② ストレーナーを工具で回して外して、ストレーナー部やＯリング部に付いているゴミを水洗いして完全に取り除く

③ 本体給水ホースを持ち上げるようにして、ホース内の水を完全に抜く

5 【おしり】を押し、本体バルブ内の水を抜く

※ 着座センサーを手で覆って【おしり】を押してください。

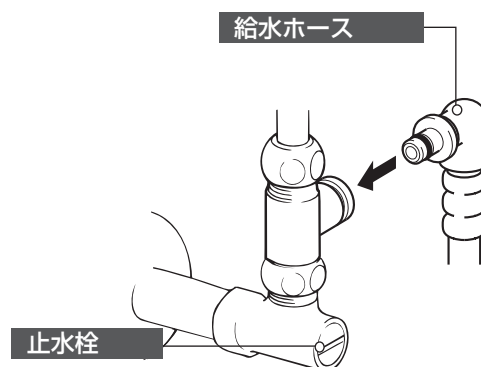
6 約５秒後、【止】を押す

7 水抜き完了後、ストレーナーを工具でしっかりと締め付ける

引越し等で本体を移設するときは

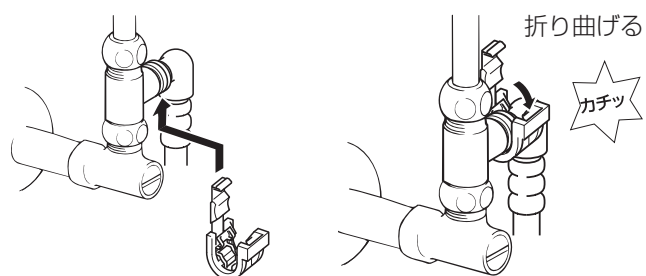
給水ホースの外しかた

クリップリングを外してから、給水ホースを外してください。

1 すき間にマイナスドライバーを差し込む

2 すき間に差し込んだマイナスドライバーを、箱状部分のつけ根方向に押す

3「2」の状態から前に押し、ツメを外す

※前に押すとき、ドライバーを少しひねりながら行うと、押しやすくなります。

給水ホースの付けかた

1 止水栓と給水ホースを取り付ける

2 クリップリングを下図のとおり、"カチッ"と音がするまで取り付ける

※取付後、クリップリングを回し、確実に取り付けられていることを確認してください。

おそうじ・お手入れ方法

修理を依頼する前に

簡単に故障が直る場合がありますので、修理を依頼される前に下記項目を確認ください。
確認しても故障が直らない場合は、お求めの取扱店または㈱ INAX メンテナンスにご相談ください。
※「★」マークは、壁リモコン以外をご使用される場合の参照先です。お使いのリモコンの取扱説明書をご覧ください。

全機能

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
すべての機能が動作しない（電源ランプが点灯しない）	電源コンセントに電気がきていますか。	停電、ブレーカー等を確認します。	ー
	電源が「切」（電源ランプ消灯）になっていませんか。	【電源】を押して、本体表示部の電源ランプを点灯させます。	11 ★ご使用前の準備
	電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。	電源プラグを完全に差し込みます。電源プラグを差し直すときは、10秒程度時間をあけてください。	11
	漏電していませんか。（切表示ランプが点灯している。）	電源プラグのリセットボタンを押します。それでもランプが点灯するようであれば漏電していますので、**電源プラグを抜き、修理を依頼してください。**	42
	100V 以外の電圧がかかっていませんか。	**電源プラグを抜き、修理を依頼してください。**	ー
リモコンのスイッチを押しても動作しない（電源ランプは点灯している）	便フタを（閉じた状態で）外していませんか。	便フタを開けた状態で再度外してください。	29
	リモコンの電池が消耗していませんか。（電池ランプ点滅*）	新しい電池に交換します。	40 ★ リモコンの電池交換
	リモコン内の電池の⊕⊖の方向が間違っていませんか。	正しい方向に入れます。	40 ★ リモコンの電池交換
	リモコンの送信部、または受信部が汚れているか、水が付いていませんか。	汚れや水を取り除きます。	ー
	インバータ照明を使用していませんか。	照明を消して動作を確認してください。正常に動作した場合は、商品の異常ではありません。	ー
	リモコンの受信部に太陽光が当たっていませんか。	太陽光が直接当たらないようにしてください。	ー
	リモコンの液晶部に「OFF」と表示されていませんか。	【電源】を押して、リモコンの電源を入にします。	ー

＊：リモコンが受信部と反対側の壁に設置してある場合、電池ランプまたは電池マークが点滅する前に使用できなくなる場合があります。

おしり・ビデ洗浄

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
シャワーが出ない（次ページへつづく）	止水栓が閉じていませんか。	止水栓を反時計回りに回します。	11
	ストレーナーが目詰まりしていませんか。	ストレーナーの掃除をします。	39
	水道圧が低くないですか。洗浄強さが最弱付近になっていませんか。	洗浄強さ【+】を押します。	15,16 ★おしり洗浄 / ビデ洗浄
	着座センサーが検知していますか。	便座に深く座る等、座りかたを変えます。	25

おしり・ビデ洗浄（つづき）

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
シャワーが出ない (前ページより)	着座センサーが検知しにくい衣服を着ていませんか。	着座センサーに、肌を検知させるようにします。	25
	温水タンクが満水になっていますか。	ご使用前の準備と確認を行います。	11,12
シャワーが温かくない	温水温度が適切に調節してありますか。	【温水温度】を押し、適当な温度に調節します。	13 ★ご使用前の準備
	長時間洗浄しましたか。	約 10 分で温かくなります。貯湯式のため、おしり（ビデ）の使用時間に応じてシャワーの温度が低下しますが、異常ではありません。	25
	節電中ではありませんか。	節電を解除します。	20 ★ 節電
ノズルシャッターが外れている（グラついている）	掃除中にブラシ等で引っ掛けて落としていませんか。	ノズルシャッターを正しく取り付けます。	30

温風乾燥〈乾燥付の場合〉

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
温風が出ない	着座センサーが検知していますか。	便座に深く座る等、座りかたを変えます。	25
	着座センサーが検知しにくい衣服を着ていませんか。	着座センサーに、肌を検知させるようにします。	25
温風が暖かくない	乾燥温度が適切に調節されていますか。	【乾燥】を押し、適当な温度に調節します。	18 ★温風乾燥
	使用条件により温度の感じ方に差がでる場合があります。温風温度は国際電気標準会議 (IEC) 基準に準拠しています。 (IEC:International Electrotechnical Commission)		―
温風が途中で止まる	4 分以上使っていませんか。	もう一度、【乾燥】を押します。	18 ★温風乾燥

暖房便座

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
便座が暖かくない	便座温度が適切に調節されていますか。	【便座温度】を押し、適当な温度に調節します。	13 ★ご使用前の準備
	節電中ではありませんか。	節電を解除します。	20 ★ 節電
長く座っていると便座がぬるくなる	便座ヒーターオート OFF 機能が働いていませんか。	便座ヒーターオート OFF 機能を解除します。	22 ★ より快適な機能
	1 時間以上便座に座っていませんか。	1 時間以上座り続けると、暖房便座が自動的に「切」の状態になります。便座から一度立ち上がり、座り直してください。	―

脱臭

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
脱臭ファンが回りっぱなしになる	着座センサーが何かで覆われていませんか。	着座センサーを覆っているものを取り除きます。	12
	不適切な便フタカバーを使用していませんか。（着座センサーに布が掛かっていませんか。）	便フタカバーを外して使用するか、当社指定の便フタカバーを使用してください。	60
脱臭ファンが回らない	脱臭が「切」にセットされていませんか。	脱臭を「入」にセットします。	14 ★ 脱臭
	便座に２時間以上座っていませんか。	故障ではありません。便座に２時間以上座っていると、自動的に着座センサーが「切」になります。	－
脱臭効果が弱くなった（ニオイが気になる）	脱臭カートリッジにホコリ等が付着していませんか。	脱臭カートリッジを掃除します。	41
	脱臭カートリッジが寿命ではありませんか。	脱臭カートリッジを交換してください。	41,60

フルオート便器洗浄〈フルオート便器洗浄付の場合〉

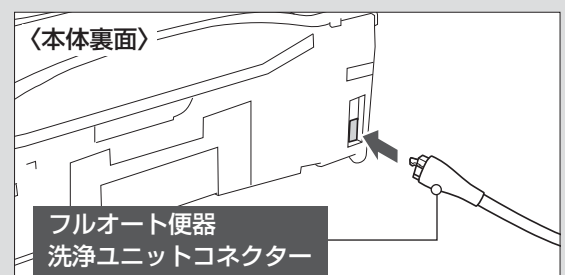
現　　象	原　　因	処　　置	ページ
フルオート便器洗浄時： ● 自動で動かない ●「大」・「小」時、逆方向に動く ● 動作中に異音がする	【自動洗浄】が「切」になっていませんか。	【自動洗浄】を「入」にします。	19 ★ フルオート便器洗浄
	フルオート便器洗浄ユニットのコードが外れていませんか。	コネクターを接続します。	（下記参照）
	フルオート便器洗浄ユニットの設定（モード）が便器に合っていない。	「フルオート便器洗浄ユニット」の施工説明書をご覧になって、モードの設定変更をするか、お求めのシャワートイレ取扱店に連絡してください。	－

■フルオート便器洗浄モード設定の変更方法〈フルオート便器洗浄ユニット付の場合〉

	壁リモコンの場合	インテリアリモコンの場合
「大小洗浄」⇆「大のみ洗浄」の切替操作 ※元に戻すのも同じ方法で行います。	**【ノズルそうじ】＋【ビデ】** 同じタイミングで６秒間押す。	**【節電】＋【ビデ】** 同じタイミングで６秒間押す。
「反時計方向」⇆「時計方向」の切替操作 ※元に戻すのも同じ方法で行います。	**【電源入／切】＋【ノズルそうじ】** 同じタイミングで６秒間押す。	**【節電】＋【おしり】** 同じタイミングで６秒間押す。

■フルオート便器洗浄ユニットコネクターの接続方法〈フルオート便器洗浄ユニット付の場合〉

1.【電源】を「切」にします。
2. 本体をスライド着脱で便器から外し、便器の上に立てます。（☞ 37 ページ）
3. シャワートイレ裏面の右側にあるコネクターにフルオート便器洗浄ユニットコネクターを接続します。
4. 本体を横に寝かせて、便器に取り付けます（☞ 38 ページ）
8.【電源】を「入」にします。

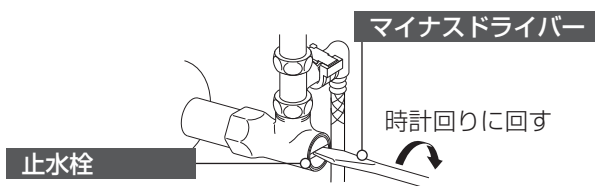
故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に

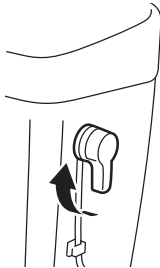
《フロート弁・鎖の調節》

洗浄ハンドルを回しても洗浄水が流れなかったり、流れっ放し等の不具合は、ロータンク内にあるフロート弁・鎖の調節不足が考えられます。以下の要領で調節してください。

タンクフタの取外し

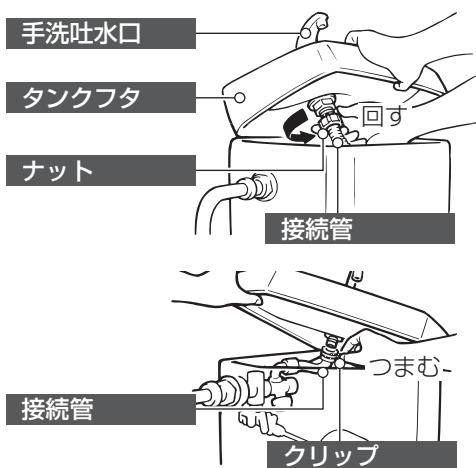
1 「止水栓」を閉めて、給水を止める

※ 止水栓は調節されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。

2 洗浄ハンドルを操作して、ロータンク内の水を抜く

※ 洗浄水が流れない場合は、タンクフタを外し、中の水を汲み出すか、フロート弁の鎖を引っ張って水を流し出します。注意ください。

3 タンクフタをロータンクから外す

手洗吐水口付は、ゆっくりとフタを持ち上げて中を見て、手洗吐水口と接続管がナットか、またはクリップで接続していることを確認します。

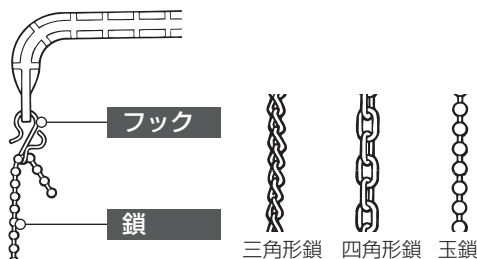
ナットやクリップをゆるめ、フタから接続管を外して、フタを取り外してください。

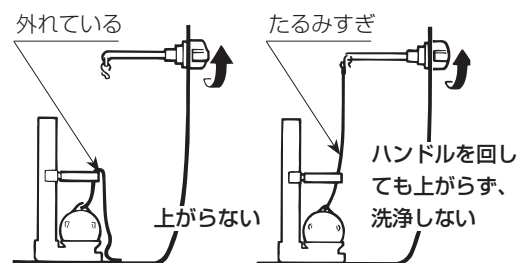
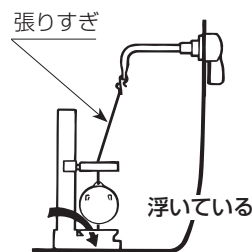
※ ナットやクリップがない場合もあります。

[注意]

●手洗吐水口付の場合は、フタを外したら再び取り付けるまで止水栓を開けないでください。
※ トイレ内を濡らす恐れがあります。

フロート弁・鎖の調節

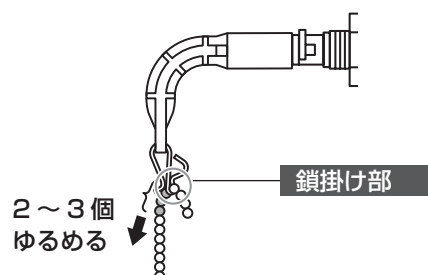
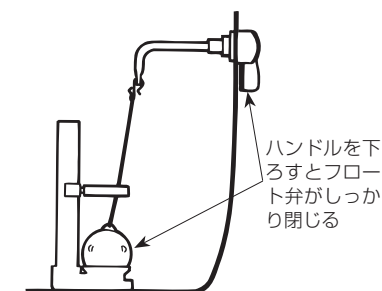
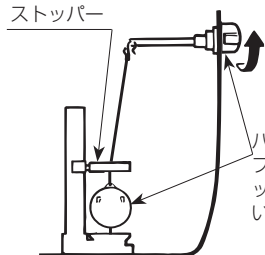
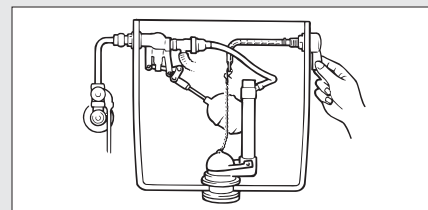
1 タンクフタを外したら、ロータンク内の鎖の形状を確認する

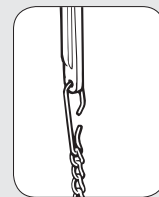
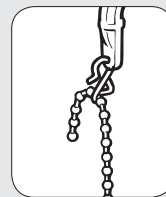
※ 鎖の形状により、調節方法が異なる場合があります。

2 フロート弁・鎖の状態を見る

洗浄水が流れない場合		流れっ放しになる場合
●鎖が外れている	●鎖がたるんでいる	●鎖が張りすぎている

鎖の調節を行います。

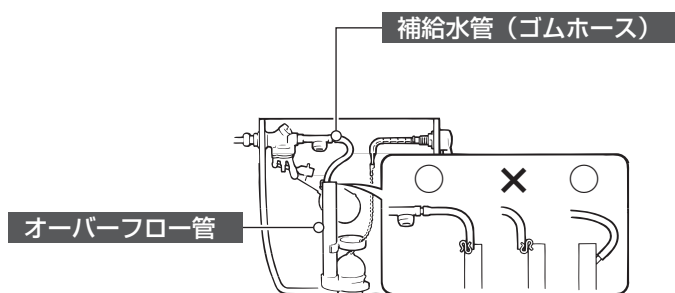
① レバーの先端を垂直にたらしたまま、フロート弁が上がらない程度に鎖を張り、フックの鎖掛け部に合わせます。

② 鎖を合わせた位置からゆるめます。玉鎖・三角形鎖は２～３個程度、四角形鎖は１個程度

③ 洗浄ハンドルを操作してレバーおよびフロート弁がスムーズに動くことを確認します。

※ 1: ストッパーがないタイプは、フロート弁が最も持ち上がる位置まで鎖を引き上げます。

※ 2: 鎖の種類によって、ゆるめる個数がちがいます。

●三角形、玉鎖　：2～3 個程度
●四角形鎖　：1 個程度
●ストッパーがないタイプ　：3～4 個程度

[注意]
●鎖やレバーが浮玉等他のものに触れたり、引っ掛かりがないようにしてください。
十分に水が流れなかったり、水が流れっ放しとなる原因となります。

タンクフタの取付け

1 補給水管がオーバーフロー管に固定されていることを確認する〈補給水管がある場合〉

2 タンクフタをのせる

手洗吐水口付の場合は下記をご覧ください。

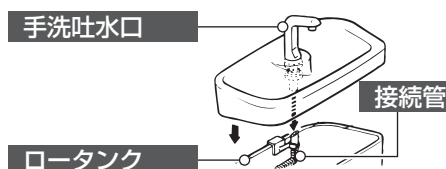
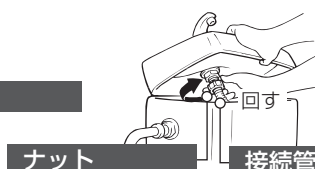
3「止水栓」を元の位置まで開く

4 流す【大】を押す または、本体の洗浄ハンドルを回して、正常に洗浄水が流れることを確認する

※ 十分に水が流れなかったり、水が流れっ放しとなる場合は、再度鎖を調節してください。(☞ 51 ページ)

[注意]
●水がロータンクから漏れたり、水が出ない場合は、すぐに止水栓を閉めてタンクフタを取り付け直してください。

〈手洗吐水口付の場合〉

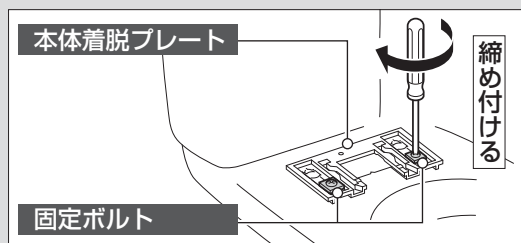
差し込むタイプ
吐水口と接続管を合わせて、ゆっくりとタンクフタを下ろして差し込みます。

ナットで接続するタイプ
吐水口に接続管のナットを回して、接続します。

クリップで固定するタイプ
あらかじめクリップを接続管にはめておき、吐水口に接続管を差し込んで、クリップでしっかりと固定します。

手洗吐水口
接続管
ロータンク
回す
ナット
接続管

その他

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
本体がガタつく、ずれる	本体がロックされていますか。	本体をしっかり押し込んでください。	38
	本体着脱プレートがゆるんでいませんか。	本体着脱プレートの固定ボルトをプラスドライバーで締め付け直してください。	（下記参照）
本体から"グググッ"と音がする ●電源プラグをコンセントに差し込んだとき ●【電源】を入れたとき ●おしり・ビデ洗浄を止めたとき	故障ではありません。 シャワートイレが正常に作動するためにモーターが動いている音です。 洗浄強さの調節や洗浄位置の調節に、異常がなければ問題ありません。		–
電源ランプが点滅している	温水・便座・乾燥のいずれかの機能に不具合が生じている。	**【電源】を「切」にしても点滅している場合は、故障していますのでコンセントから電源プラグを抜いて修理を依頼してください。**	–
	点検時期が来ている。	**【電源】を「切」にして消灯する場合は、点検時期ですのでお早めに点検をお受けください。**	–
	止水栓が閉まっている等により、通水状態になっていない。	止水栓を開ける等、通水できる状態にしてください。	11
便座裏側にある後ろ足（奥の出っぱり）が便器に着いていない（浮いている）	故障ではありません。 後ろ足（奥側の出っ張り）は浮く設計になっていますので、そのままご使用ください。		–
お買い上げ時の設定に戻したいとき	《便利な使い方》等で変更した機能を、全てお買い上げ時の設定に戻します。	**【おしり】、【温水温度】、【便座温度】を同じタイミングで２秒以上押します。**	24 ★ より快適な機能
便座裏に水滴が付着する	シャワーの飛び散りにより便座裏に水滴が付着した。	こまめにふきとってください。また、深く腰掛けてご使用いただければシャワーの飛び散りが少なくなります。	–
漏水している	ストレーナーがゆるんでいませんか。	ストレーナーを締めます。	39
	ストレーナーにゴミが付着していませんか。	ストレーナーを掃除します。	39
	温水タンク水抜栓がゆるんでいませんか。	温水タンク水抜栓を締めます。	44
	湿度が高く結露していませんか。	こまめにふきとってください。 また換気を十分にしてください。	–

■本体着脱プレート固定方法

1. 本体をスライド着脱で便器から外します。（☞ 37 ページ）
2. プラスドライバーを使って、本体着脱プレート内にある２本の固定ボルトを上から押すようにして締め付けます。
3. 本体を元に戻します。（☞ 38 ページ）

安全・安心にお使いいただくために

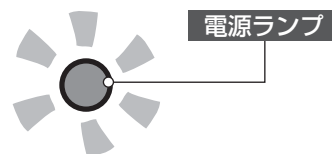
温水洗浄便座は電気製品のため、長期間ご使用いただくうちに経年劣化により事故に至る恐れがあります。
また、故障したままご使用を続けると製品事故に至る可能性がありますので、故障の場合はすぐにご使用を中止し、販売店、工事店または（株）INAX メンテナンスまでご連絡ください。

1. 所有者登録のお願い

シャワートイレを安全かつ安心してお使いいただくために、製品安全や保守に関わる情報をご提供できるよう、所有者登録をお願いしております。所有者登録のお手続きは、Web でのご登録、または専用ハガキに必要事項をご記入の上 INAX までご返送ください。
詳しくはご購入時にお渡しの「保証書・所有者登録のお願い」をご覧ください。
※ 一般家庭以外でご使用のオーナーさまは Web のみのご登録となります。
※ ご登録等をされるときには、便フタ裏または製品本体に張ってあるシールが必要となります。決してはがさないようにしてください。

2. 点検時期お知らせ表示（タイムスタンプ）機能について

製品のご使用を開始して約 10 年が経過すると、電源ランプが連続して１秒間に約５回の点滅を繰り返します。
この表示は、お客さまにご安心してご使用いただくための機能であり、機器の故障ではなく、長年のご使用で製品が安全に使用されているか、また劣化や故障が無いかを確認する点検時期がきたことをお知らせするものです。

INAX では安全点検（有料）をご用意しております。
この機会に、内部的な確認を含んだ点検をおすすめいたします。
※ 詳しくは、お客さま相談センターへお問い合わせください。（TEL 0120-1794-00）

3. セルフチェック項目

シャワートイレの日常的な安全点検は、ご自身でも行うことができます。
下記のチェック項目をもとに、定期的な点検をお願いいたします。
点検をしていただいても故障が直らない場合や調子が悪い場合は、㈱INAX メンテナンスにご相談ください。

温水洗浄便座セルフチェック表

製品を末長くお使いいただくために、下のチェック項目により、定期的な点検をお願い致します。

セルフチェックを行う前に、シャワーや温風などの各機能が正常に作動するか確認してください。

1つでも該当する場合　**次のような症状は、火災や感電、室内浸水の原因になります。電源プラグを抜き止水栓を閉めて、直ちに販売店か工事店または INAX メンテナンス 修理受付センターまでご連絡ください。**

	点検目安※	実施日					
便座・便座コード 便座や本体、便座コードに異常がある状態で使用を続けると、火災や感電の原因となります。							
❶ 本体や便座にひびや割れがありませんか?ゴム足は外れていませんか?	年2回以上	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
❷ 便座が異常に熱いときや冷たいときはありませんか?	月1回	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
		/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
❸ 便座の開閉はスムーズですか?便座のガタツキはありませんか?	年2回以上	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
水漏れ 本体や止水栓まわりから水漏れしている状態で使用を続けると、火災や感電、室内浸水の原因となります。							
❹ 水漏れがありませんか? 同時に、ロータンクの中の金具や浮き玉の動き、洗浄ハンドルの戻りなど、不具合がないことを確認してください。	年2回以上	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
電源コード・電源プラグ 温水洗浄便座の電源コードに異常がある状態で使用を続けると、火災や感電の原因となります。							
❺ 電源コードが熱くなっていませんか?傷んだり、挟み込んだりしていませんか?	月1回	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
		/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
❻ シャワートイレ本体・電源プラグ・コードが故障(異臭・異音)していませんか?	月1回	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
		/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
❼ 電源プラグにほこりがたまっていませんか? はい □ → ほこりを取り除いてください。	月1回	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
		/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /

※点検目安は弊社お勧めの期間です。

セルフチェックを行う前に、本ページの温水洗浄便座セルフチェック表の部分をコピーしてお使いください。

4. 点検の修理、お申し込みは

お求めの取扱店または
(株)INAXメンテナンス　修理受付センター

TEL 0120-1794-11
FAX 0120-1794-56

受付時間9:00〜20:00（365日受付）
ホームページアドレス　http://www.i-mate.co.jp

5. 製品の長期使用に関する本体表示について

(本体への表示内容)

●経年劣化により事故に至る恐れがあることをお知らせするために、本体に以下の内容の表示をしております。

■製造年(本体に西暦4桁で表示してあります。)

警告	**【想定安全使用期間】10 年** 想定安全使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・ケガ等の事故に至る恐れがあります。

(想定安全使用期間とは)

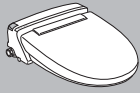
一般家庭用に設置された温水洗浄便座において、標準的な使用条件の下で適正な取扱いで使用し、適正な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用できる期間として想定されています。

この想定安全使用期間は無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を補償するものではありません。

■標準使用条件

環境条件	**電圧・周波数**	AC100V・50/60Hz	機器の定格電圧・周波数による
	温度	20℃	JIS A4422 による
	給水温度・給水圧	15℃・0.2MPa	JIS A4422 による
負荷条件	**定格負荷**	製品仕様による標準設置状態	JIS A4422 による
想定時間	4 人家族(男性2人、女性2人)において、大便:1回/日·人、小便男性:4回/日·人、小便女性:4回/日·人の使用回数で、一回ごとの洗浄便座機能の使用時間をそれぞれ15秒間とする。		JIS A4422 による
取扱維持管理	取扱説明書に記載された通常の使用方法、お手入れ、点検・修理が行われている。		

❖経年劣化について

「経年劣化」とは長期間にわたる使用や放置に伴い生じる劣化をいいます。

アフターサービス

1. 修理を依頼される前に

商品が故障したら「故障かな？と思ったら」（☞ 48 ページ以降）を参照してください。
それでも故障が直らない場合は、お求めの取扱店または㈱ INAX メンテナンスにご相談ください。
なお、不具合でなくても下記の場合はご相談ください。

●取扱説明書どおりに使用されても、まだ不明な点がある場合
●コードの傷みやコンセントのガタツキ
●コンセントや電源プラグ、コードの過熱

上記の場合は、そのままにしておくと思わぬ事故につながる恐れがあります。必ずご相談ください。

他社製ロータンクにフルオート便器洗浄ユニットを取り付けている場合

ロータンク内の部品による不具合・故障において、フルオート便器洗浄ユニット以外の部品が原因の場合、保証の対象外となります。
※ フルオート便器洗浄ユニットとは、自動便器洗浄するためのユニットであり、洗浄ハンドルからモーター部、ハンドルレバーまでを示します。それ以外の部品（鎖・フロートゴム等）は、保証の対象外となります。

分解禁止

分解や改造は
絶対に行わないでください。
※ 感電・火災・ケガの原因になります。

指示実行

シャワートイレ本体や給水部から漏水した場合、コンセントから電源プラグを抜き、止水栓を閉めてください。
※感電・火災・室内浸水の恐れがあります。

指示実行

シャワートイレ本体、電源プラグやコードが故障（異音･異臭･発煙・高温・割れ・漏水）した場合、ただちにコンセントから電源プラグを抜き、止水栓を閉め、修理を依頼し、故障したまま使用しないでください。
※ 感電･火災･漏水の恐れがあります。

2. 保証書をご覧ください

この商品は保証書がついています。保証書は、取扱店で所定事項を記入してからお渡しいたします。
記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間は取付けの日から 2 年間です。

保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

3. 修理を依頼されるとき

■ 保証期間中の修理

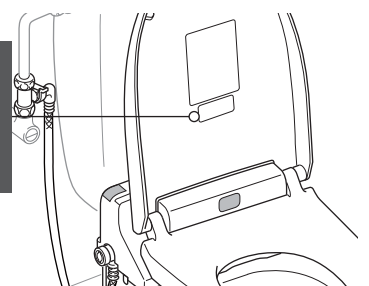
修理に際しては、必ず保証書をご提示ください。
保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

■ 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、
お客さまのご要望により有料修理いたします。
料金の内訳は、技術料＋出張料＋部品代です。

■ 連絡していただきたい内容

1. ご住所・ご氏名・電話番号
2. 品名・品番・色番・製造番号
（便フタ裏または製品本体に張ってあるシールをご覧ください。）
3. お取付日（保証書をご覧ください。）
4. 故障内容・異常の状況（できるだけ詳しく）
5. 訪問ご希望日

※ ご登録等をされるときには、便フタ裏または製品本体に張ってあるシールが必要となります。決してはがさないようにしてください。

4. 補修用性能部品の最低保有期間

シャワートイレの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後 6 年です。
点検・修理の申し込みの際にお問い合わせください。
保有期間経過後の修理では、部品がない場合がありますのでご了承願います。
※ 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

5. 定期点検のおすすめ

有料となりますが、次のような場合は定期的に点検を受けていただくことをおすすめします。

- ●負圧破壊装置（バキュームブレーカー）… 6 年ごとに点検
- ●ご使用上支障がなくても長くお使いいただくため、お買い上げより 3 年たったもの
- ●温泉地域および海岸付近等、特に腐食をおこしやすいところで使用されるもの
- ●長期間のご使用により電源ランプが点滅したら

定期点検については、㈱ INAX メンテナンスまでご相談ください。
点検料金の内訳は、点検料（技術料）＋出張料＋部品代（交換した場合）です。

6. 商品についての使い方・お手入れ方法等のお問い合わせは

（株）INAX「お客さま相談センター」

TEL 0120-1794-00
FAX 0120-1794-30

受付時間　平日　9:00～18:00
土・日・祝日10:00～18:00
（夏期、年末年始の休みは除く）

※ フリーダイヤルは、携帯電話・PHS・IP電話等ではご利用になれない場合がございます。
下記番号をご利用ください。
TEL：0562-40-4050
FAX：0562-40-4053

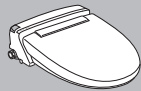
7. 商品についての修理のご依頼は

お求めの取扱店または
（株）INAXメンテナンス　修理受付センター

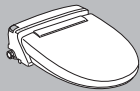
TEL 0120-1794-11
FAX 0120-1794-56

受付時間9:00～20:00（365日受付）
ホームページアドレス　http://www.i-mate.co.jp

■延長保証について
通常、保証期間は 2 年間ですが、「所有者登録」されますと無料でさらに延長されます。
Web からご登録いただくか、同梱の「所有者登録ハガキ」に必要事項を記入し、アンケートにお答えいただいて郵送してください。
※ 詳しくはご購入時にお渡しの「保証書・所有者登録のお願い」をご覧ください。
※ 一般家庭以外でのご使用は、Web でご登録いただいた場合のみ 1 年間延長され、計３年間保証になります。

仕様

			CW-E63型	CW-E61型	CW-E60型
グレード			温風乾燥 脱臭	脱臭	–
定格電源			AC100V 50/60Hz		
定格消費電力			410W	350W	
省エネ区分			貯湯式		
年間消費電力量※			177kWh/年 （節電機能切時：244kWh/年）		
使用水道圧範囲	最低必要圧力		0.06MPa （流動圧）		
使用水道圧範囲	最高水圧		0.75MPa （静水圧）		
使用温度範囲			0℃～40℃		
商品寸法			幅420mm×奥行554mm×高さ149mm		
商品質量			約4.2kg	約4kg	
電源コード			有効長さ:1.2m （漏電保護機能、アースコード付）		
機能部	洗浄	給水方式	水道直結式		
機能部	洗浄	給湯方式（タンク容量）	貯湯式（0.84L）		
機能部	洗浄	おしり吐水量	0.5～0.7L/分（6段階調節）供給水圧0.2MPaのとき		
機能部	洗浄	ビデ吐水量	0.6～0.9L/分（6段階調節）供給水圧0.2MPaのとき		
機能部	洗浄	温水温度	水温・約32℃～40℃（計6段階切替） スーパー節電設定時：水温・約30℃～36℃ ワンタッチ節電(8h)設定時：水温		
機能部	洗浄	ヒーター容量	300W		
機能部	洗浄	安全装置	温度ヒューズ・高温感知スイッチ		
機能部	温風乾燥	風量	0.2㎥/分	–	
機能部	温風乾燥	温風温度	室温・約40℃～55℃ （計3段階切替）	–	
機能部	温風乾燥	ヒーター容量	340W	–	
機能部	温風乾燥	安全装置	温度ヒューズ	–	
機能部	暖房便座	表面温度	使用時：室温・約28℃～40℃(計6段階切替) スーパー節電設定時：室温・約27℃～30℃ ワンタッチ節電(8h)設定時：室温		
機能部	暖房便座	ヒーター容量	45W		
機能部	暖房便座	安全装置	温度ヒューズ		
機能部	脱臭	脱臭方式	脱臭カートリッジによる化学吸着方式		–
機能部	脱臭	脱臭能力	パワー脱臭時　：0.11㎥/分 フルパワー脱臭時：0.14㎥/分 ターボ脱臭時　：0.17㎥/分		–
リモコン	標準リモコン	寸法	幅200mm×奥行23.5mm×高さ110.5mm		
リモコン	標準リモコン	電源	単三アルカリ乾電池：2本		
リモコン	インテリアリモコン	寸法	幅325mm×奥行150mm×高さ50mm		
リモコン	インテリアリモコン	電源	単三アルカリ乾電池：2本		

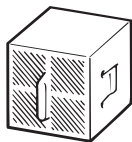
※：省エネ法（2012年度基準）に基づいた測定値。

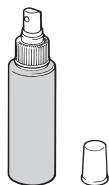
[注意]
●この商品は、日本国内向け仕様です。海外での使用は、おやめください。

別売品のご案内

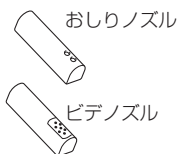
INAX では、快適なトイレ空間造りのお手伝いとして、シャワートイレのメンテナンス用品をはじめとする、数々の別売品を用意しております。

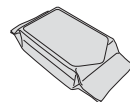
別売品について

■ 取替え用脱臭カートリッジ（品番：CWA-29）

脱臭カートリッジの寿命は、約７年です。ニオイが気になりだしたら交換してください。
（☞ 41 ページ）

■ シャワートイレお掃除クリーナー（品番：CWA-20）

プラスチックを傷めないスプレー式シャワートイレ専用洗剤です。シュッと吹きかけて、ただふきとるだけ。
脱臭剤配合で便器にもご使用になれます。
（☞ 28,36,38 ページ）

■ おしりノズル先端（品番：CWA-220）
■ ビデノズル先端（品番：CWA-221）

汚れが気になるときに交換できます。
ノズル先端をいつも清潔に保てます。
（☞ 33 ページ）

■ トイレ用おそうじティッシュ（品番：CWA-36-4SET）

プラスチックを傷めず、除菌効果に優れたトイレ専用ウェットティッシュです。
（☞ 28,36,38 ページ）
使用後、便器にそのまま流せます。

■ ノズルシャッター（品番：CWA-222）

汚れが気になるときに交換できます。ノズルまわりをいつも清潔に保てます。（☞ 30 ページ）

■ 便座カバーと便フタカバーは、同梱の「水まわりグッズ通販カタログ」をご覧ください。

便座カバーや便フタカバーは、当社のアクセサリーからお選びください。
他社商品や不適切なカバーによっては、便座が開かなかったり、着座センサーが入りっ放しになったりして、不具合が生じる場合があります。

別売品の購入方法

■ 直接、購入される場合

弊社商品の取扱店でお求めください。

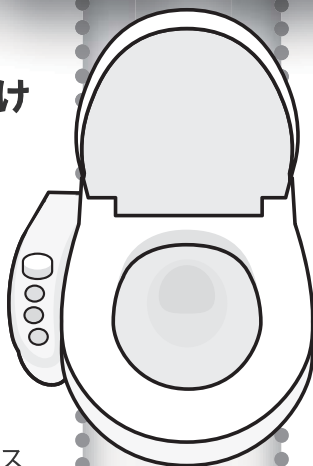
■ 宅配サービスをご利用される場合

（株）INAX メンテナンスにご連絡ください。
宅配サービスにてお届けいたします。（宅配サービスでは送料が別途必要となります。）
[電話注文]
　電話番号　フリーダイヤル 0120-00-1794
　受付時間　9：00 ～ 17：00（夏期・年末年始の休みは除く）
[インターネット利用]
　下記ホームページアドレスにアクセスして、商品をお求めください。
　http://www.inax.co.jp/aftersupport/(24 時間受付)
　（インターネットではお取扱いしていない商品もございます。あらかじめご了承ください。）

温水洗浄便座　**重大事故防止のためのお願い**

温水洗浄便座は電気製品で寿命があります

故障したままで使いつづけないでください。

故障したままのご使用は、**火災や感電、室内浸水の原因**になります。異常に気づいたら、**電源プラグを抜き、止水栓を閉めてご使用を中止**し、販売店、工事店またはメーカーのサービス会社へご連絡ください。

定期的な点検をおすすめします。

安心してご使用いただくため、**定期的な点検**をおすすめします。また、**長期間（10年以上）ご使用の温水洗浄便座は買い替え**をご検討ください。使い勝手、機能性、省エネ性能も向上しています。販売店、工事店またはメーカーにご相談ください。

日ごろのご使用にあたり、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

故障したままで使いつづけないでください。火災や感電、室内浸水の原因になります。

- 便座や本体に小水や洗剤をかけないでください。故障や火災の原因になります。
- 酸性やアルカリ性の洗剤を使わないでください。内部の電気部品や金属を腐食させます。
- 電源プラグのほこりは取り除いてください。トラッキング※現象で火災の原因になります。

※トラッキングとは・・・電源プラグにたまったほこりと湿気により微小電流が流れ、火花が発生する。火花によりほこりが燃えて炭化するとトラック（電気の道）ができる。トラックのできた電源プラグを使用し続けると、やがて大量の電流が流れるようになりショートし、発火する。

温水洗浄便座 セルフ安全チェックリスト

症状がひとつでも該当する場合は、電源プラグを抜き、止水栓を閉めて、直ちに販売店、工事店またはメーカーのサービス会社へご連絡ください。

便座・便座コード

便座や本体、便座コードに異常がある状態で、使用を続けると、火災や感電の原因となります。

- □ 本体や便座にひびや割れがありませんか？ ゴム足は外れていませんか？
- □ 便座が異常に熱いときや冷たいときはありませんか？
- □ 便座の開閉はスムーズですか？ ガタツキはありませんか？
- □ 便座コードが熱くなっていませんか？ 傷んだり、挟みこんだりしていませんか？ 焦げ臭いにおいがしませんか？

電源コード・電源プラグ

電源コードに異常がある状態で、使用を続けると、火災や感電の原因となります。

- □ 電源コードが熱くなっていませんか？ 傷んだり、挟みこんだりしていませんか？
- □ 電源プラグにほこりがたまっていませんか？

水漏れ

水漏れしている状態で、使用を続けると、火災や感電、室内浸水の原因となります。

- □ 本体や止水栓まわりから水漏れはありませんか？

温水洗浄便座協議会　後援 経済産業省

〒461-0002 名古屋市東区代官町39-18　http://www.sanitary-net.com

フリーダイヤル 0120-39-7718　受付時間　平日09：00～17：00

商品のお問い合わせは
お客さま相談センターへ

TEL ⓕ 0120-1794-00
FAX ⓕ 0120-1794-30

受付時間　平日　9:00～18:00
土・日・祝日　10:00～18:00
（夏期、年末年始の休みは除く）

※ フリーダイヤルは、携帯電話・PHS・IP電話等ではご利用になれない場合がございます。下記番号をご利用ください。
TEL：0562-40-4050
FAX：0562-40-4053

修理のご依頼は
INAXメンテナンス修理受付センターへ

TEL ⓕ 0120-1794-11
FAX ⓕ 0120-1794-56

受付時間　9:00～20:00（365日受付）

当社は、当社取扱商品のユーザーさまおよび流通業者さまなどの個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンスなど、当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用いたします。個人情報の取扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」（http://www.inax.co.jp/privacy/）をご覧ください。

年	月	日	損傷と処置	サービス担当者

株式会社 INAX
〒479-8585　**愛知県常滑市鯉江本町 5-1**
ホームページアドレス　http://www.inax.co.jp/

GCW-1217B(10110)